

三重県の文化財保護

— 平成 25 年度 —



2014.12

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が平成25年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I 文化財の指定・登録

- 1 国指定文化財の指定 …… 1
- 2 国登録有形文化財の登録 …… 2
- 3 三重県文化財保護審議会 …… 9
- 4 三重県指定文化財の指定等 …… 10
- 5 市町指定文化財の指定・解除 …… 23

II 県実施の調査・保護事業

- 1 特別天然記念物カモシカ調査
 - (1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査 …… 24
 - (2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査 …… 24
 - (3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議 …… 25
- 2 埋蔵文化財緊急発掘調査等
 - (1) 国史跡齋宮跡発掘調査 …… 25
 - (2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査 …… 26
 - (3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理 …… 26
- 3 新たな地域文化発掘推進事業 …… 26
- 4 史跡等総合活用支援推進事業
 - (1) 史 齋宮跡 …… 27
 - (2) 県内埋蔵文化財 …… 27
- 5 重文 三重県齋宮跡出土品
美術工芸品保存修理 …… 28

III 文化財補助事業等

- 1 国庫補助事業
 - (1) 建造物保存修理事業 …… 29
 - (2) 建造物防災施設事業 …… 29
 - (3) 重要伝統的建造物群保存地区・
保存修理事業 …… 29
 - (4) 伝統的建造物群保存対策調査事業 …… 29
 - (5) 文化財建造物等活用地域活性化事業 …… 30
 - (6) 美術工芸品保存修理事業 …… 30
 - (7) 美術工芸品調査事業 …… 30
 - (8) 美術工芸品防災施設事業 …… 31
 - (9) 重要無形文化財保持団体補助事業 …… 31
 - (10) 民俗文化財伝承・活用等事業 …… 31
 - (11) 史跡等・登録記念物・
歴史の道保存整備事業 …… 32
 - (12) 史跡等買上事業 …… 34
 - (13) 史跡等総合活用支援推進事業 …… 34
 - (14) 埋蔵文化財発掘調査等事業 …… 34
 - (15) 天然記念物食害対策事業 …… 41
 - (16) 天然記念物緊急調査事業 …… 42
 - (17) 天然記念物再生事業 …… 42

2 県費単独補助事業

- (1) 美術工芸品保存修理 …… 43
 - (2) 史跡等買上げ …… 43
 - (3) 天然記念物再生 …… 44
 - (4) 史跡整備 …… 44
 - (5) 民俗文化財 …… 44
- ### 3 活かそう守ろうみえの文化財事業
- (1) 事業概要 …… 44
 - (2) 事業実績 …… 45
- ### 4 民間団体による助成 …… 49

IV 世界遺産の保存管理

- 1 世界遺産熊野古道保存管理事業
 - (1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」
三県協議会 …… 50
 - (2) 県内の世界遺産保存管理 …… 51
 - (3) 活用事業 …… 52
- 2 他部局との連携事業ほか
 - (1) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会 …… 52
 - (2) 熊野古道関係担当者会議 …… 52

V 文化財の管理・普及

- 1 登録審査
 - (1) 銃砲刀剣類登録審査会 …… 53
 - (2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会 …… 53
 - (3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会 …… 53
- 2 文化財の管理
 - (1) 文化財パトロール …… 54
 - (2) 文化財保護にかかる会議 …… 57
 - (3) 発掘調査届・通知等 …… 59
 - (4) 埋蔵文化財の発見（法第100条関係） …… 60
 - (5) 埋蔵物の文化財認定（法第102条関係） …… 61
 - (6) 出土文化財の譲与 …… 63
- 3 国・県指定文化財の現状変更等
 - (1) 国指定文化財現状変更等 …… 65
 - (2) 県指定文化財現状変更等 …… 71
- 4 文化財の公開・普及
 - (1) 文化財関係の受賞 …… 75
 - (2) 三重県文化財講習会（第31回） …… 75
 - (3) 第55回近畿・東海・北陸ブロック
民俗芸能大会 …… 76
 - (4) 文化財保護強調週間行事 …… 76
 - (5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況 …… 76
 - (6) 文化財保護の組織 …… 76

I 文化財の指定・登録

1 国指定文化財の指定

専修寺（せんじゅじ） 附 棟札【通天橋（つうてんきょう）附】、棟札【対面所附】、
骨堂（こつどう）【御廟唐門（ごびょうからもん）及び透塀（すきべい）附】

種別	重要文化財（建造物）
員数	11棟（山門、唐門、通天橋、御廟拝堂、御廟唐門及び透塀、鐘楼、茶所、太鼓門、大玄関、対面所、賜春館）
所在地	津市一身田町2819番地
所有者	宗教法人専修寺
年代	近世・近代
指定基準	建造物の部 （一） 意匠的に優秀なもの
指定番号	建 第2599号
指定年月日	平成25年8月7日（平成25年8月7日付文部科学省告示第129号）
特徴・評価	専修寺は、津市街の北方に位置する真宗高田派の本山である。現在の伽藍は、正保2年（1645）の大火後に順次建立されたもので、江戸期を通じて整備され、今日まで良好に残っている。 山門や唐門のほか殿舎や鐘楼等、質の高い規模の大きな建物が並び、また御廟の諸建築も華やかな彫刻で装飾され、優れた意匠となっている。 御影堂、如来堂を含め、浄土真宗の本山寺院に相応しい格式をもつ伽藍であり、価値が高い。



御廟拝堂

2 国登録有形文化財の登録

佐野家住宅 主屋・小蔵・石垣・土塀

(さのけじゅうたく しゅおく・こくら・いしがき・どべい)

員数	3棟、1基(24-0150・0151・0152・0153)
構造・規模	主屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積172㎡ 小蔵：土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積7.2㎡ 石垣：石造、延長48m、土塀：土塀、瓦葺、延長16m、潜戸付
所在地	松阪市飯南町深野字田之浦3490-1
所有者	個人
年代	主屋：明治前期／昭和11年改修・昭和37年改修、小蔵：昭和前期、 石垣：明治前期、土塀：明治頃
登録基準	(一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日	平成25年6月21日(平成25年6月21日付文部科学省告示第119号)
特徴・評価	

佐野家は飯南地域の中心地、深野に所在し、「佐野翠香堂」の屋号で薬種問屋、薬局を営んできた。敷地は、南側が和歌山街道に面しており、東・北・西辺は石積で土留めされ、石積み上部はそれぞれ土塀ないし生垣で画されている。

主屋主体部は木造平屋建、その東辺には主体部と棟を平行にする落棟部を設ける。主体部の建築以来、増築や改築を重ね、次第にその充実を図ってきたもので、中山間地域の近代化の歩みを示すものである。道具類の収納用の小蔵、玉石積みの石垣、棧瓦葺、白漆喰塗りの土塀は佐野家住宅の屋敷構えを構成する重要な要素で、佐野家住宅の歴史的な理解に欠かせないものであり、また当地域の伝統的な敷地景観を整えている。



佐野家住宅 主屋

寿量寺 旧大黒殿・鐘楼 (じゅりょうじ きゅうだいこくでん・しょうろう)

員数 2棟 (24-0154・0155)
構造・規模 旧大黒殿：鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積 16㎡
鐘楼：鉄筋コンクリート造、面積 7.5㎡
所在地 桑名市大字桑名字伝馬町 2363
所有者 宗教法人 寿量寺
年代 旧大黒殿：昭和10年頃
鐘楼：昭和10年頃

登録基準 (二) 造形の規範となっているもの

登録年月日 平成25年6月21日 (平成25年6月21日付文部科学省告示第119号)

特徴・評価 東海道七里の渡しの南方約1.5kmに位置する。昭和20年の空襲で被害を受けたが、この旧大黒殿と鐘楼のみが焼失を免れた。旧大黒殿は当時桑名で盛んであった大黒天信仰を受けて整備されたものと見られ、大黒天は現在、本堂に安置されている。平屋建の建物で、主体部にはヴォールト屋根をかけ、前方に設けた向拝には簡略化された和風意匠を用いている。鐘楼は宝形造の鉄筋コンクリート建物で、伝統的な鐘楼の形態を基調として簡略化された和風意匠とアーチとの折衷を試みた建物である。

所在する桑名市は三重県下でも鉄筋コンクリート造建物の普及定着が早くから進んだ地域であり、地域に定着していく過程を示す貴重な例である。



寿量寺 旧大黒殿

一乃湯 本館・門 (いちのゆ ほんかん・もん)

員 数 2棟 (24-0156・0157)
構造・規模 本館：木造二階建、瓦葺、建築面積 129㎡
門：石造、間口 2.1m、柵付
所在地 伊賀市上野西日南町1761 他
所有者 個人
年 代 本館：大正15年
門：大正15年／昭和25年改修

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

登録年月日 平成25年6月21日 (平成25年6月21日付文部科学省告示第119号)

特徴・評価

上野城下町の南部、上野西日南町に所在する一乃湯は、もともと銭湯「草津湯」として建築・開業された後、昭和25年に現在の「一乃湯」として開業した。本館は、唐破風の玄関など、各所の意匠が総じて社寺風のしつらえとなっている。番台と脱衣場と浴場は別棟になっており、番台や脱衣場がある建物は和風、浴場の建物は、入口に花模様のテラコッタやアーチ状に色ガラスが嵌められ、洋風を醸し出して対照的な佇まいである。

花崗岩の石柱門は、洋風の鉄製の門扉・鉄柵がつけられ、門の上部の「一乃湯」を加工したネオン管の看板は利用者を出迎えるシンボルマークとなっている。

上野城下町において、昭和の雰囲気色が濃く残る建物として貴重なものである。



一乃湯 本館・門

朝日小学校円形校舎（あさひしょうがっこうえんけいこうしゃ）

員数	1棟（24-0165）
構造	鉄筋コンクリート造4階建、金属板葺、建築面積573㎡
所在地	三重郡朝日町大字柿750
所有者	朝日町
年代	昭和37年／平成15年改修
登録基準	（三）再現することが容易でない
登録年月日	平成25年12月24日（平成25年12月24日付文部科学省告示第161号）
特徴・評価	朝日町唯一の町立小学校の円形校舎である。明治に建設された旧校舎が老朽化したため、昭和37年に新校舎として、2階建ての矩形棟、平屋建ての厨房棟とともに建築された。4階建て鉄筋コンクリート造の建物で、昭和30年代に日本全国で円形校舎を設計した坂本鹿名夫氏の設計による。教室はいずれも扇形で教師が生徒に目配りしやすい等の利点があるが、増築の困難さ等から昭和40年代からあまり建てられなくなった。朝日小学校では、矩形棟に児童数の変動を受けやすい普通教室を配しているため、現在も耐震工事等を行い使用されている。建物は、1階から3階までは円形ホールを設け、その外側に特別教室や職員室等を、4階には講堂兼体育館を配置している。

昭和30年代の小学校校舎の一潮流として、時代的特色をよく表した建物である。



朝日小学校円形校舎

鈴木家住宅 主屋・蔵・納屋（すずきけじゅうたく しゅおく・くら・なや）

員 数 3棟（24-0158・0159・0160）
構造・規模 主屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積 156㎡
蔵：土蔵造2階建、瓦葺、建築面積 28㎡
納屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積 46㎡

所 在 地 松阪市六呂木町852
所 有 者 個人
年 代 主屋：明治中期／昭和45年・平成14年改修
蔵：明治16年、納屋：明治中期／昭和前期改修

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日 平成25年12月24日（平成25年12月24日付文部科学省告示第161号）
特徴・評価

明治期には村長も勤めた鈴木家は「喜多村」の屋号をもつ農家で、昭和30年代以前にはみかん栽培を営んでいた。主屋は木造平屋建、瓦葺の建物で、江戸時代後期からみられる当地域に典型的な間取りを継承している。また、小屋裏で養蚕を行うために、広い空間を確保できる構造になっている。

蔵は当地域の農家が土蔵を備えることが一般化する時期の建物として重要なもので、伝統的な工法と近代的な技術の双方が見られる建物である。

主屋、蔵、みかん熟成庫として使用されていた木造平屋建の納屋が一体となって、松阪市中山間地域の農家の近代化を示す優れた屋敷構えを構成している。



鈴木家住宅 主屋・蔵

神武参剣道場 (じんむさんけんどうじょう)

員数	1棟(24-0161)
構造・規模	木造2階建、瓦葺、建築面積248㎡
所在地	志摩市磯部町上之郷字上ノ里375-1他
所有者	財団法人 神武参剣道場
年代	昭和36年
登録基準	(一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日	平成25年12月24日(平成25年12月24日付文部科学省告示第161号)
特徴・評価	伊勢神宮内宮の別宮、伊雑宮の門前に位置する剣道場である。木造二階建、瓦葺の建物で、伊勢湾台風時に倒れた木が材料として用いられたと伝えられている。正面玄関には千鳥破風を設け、その上に「参剣」を表した鬼瓦を載せている。伊雑宮門前の歴史的景観に寄与する建物である。



神武参剣道場

開化寺 観音堂・三重塔・門 (かいかじ かのんどう・さんじゅうのとう・もん)

員 数 3棟 (24-0162・0163・0164)
構造・規模 観音堂：木造平屋建、瓦葺、建築面積 80 m²
三重塔：木造三重塔、瓦葺、建築面積 4 m²
門：木造、瓦葺、間口 3 m
所在地 伊賀市小田町1077
所有者 宗教法人開化寺
年代 観音堂：江戸後期／明治22年・昭和11年移築
三重塔：大正2年
門：江戸後期／明治期移築

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

登録年月日 平成25年12月24日 (平成25年12月24日付文部科学省告示第161号)

特徴・評価 開化寺は伊賀上野城の北西に所在し、明治3年、伊賀盆地を流れる服部川、長田川(木津川)の水害にあった寺院二つが合併し、明治11年に建立された。境内には正面に本堂があり、右に観音堂、左に三重塔がある。木造瓦葺きの観音堂は、明治22年に市内の菅原神社の庚申堂を購入し、移転改築したものである。

三重塔は、明治2年に同じ小田にあった寺から移築されたが、売却されたため、当初の塔を模して大正2年に建立された。近代の塔としては県下でも数少ないものである。

門は三重塔とともに移築されたと伝わるもので、多くの彫刻が施された装飾性の高い門である。いずれの建物も地域の歴史を表すシンボルとなっている。



開化寺 観音堂・三重塔・門

3 三重県文化財保護審議会

氏 名	担当分野	所 属
林 良彦	建 造 物	奈良文化財研究所 文化遺産部長
菅原 洋一	建 造 物	三重大学 教授
狩野 博幸	絵画・工芸	同志社大学 教授
関根 俊一	絵画・工芸	帝塚山大学 教授
日高 薫	絵画・工芸	国立歴史民俗博物館 教授
伊東 史朗	彫 刻	和歌山県立博物館長
熊田 由美子	彫 刻	愛知県立芸術大学 教授
赤川 一博	彫 刻	天理大学 講師
岡野 友彦	文 書	皇學館大学 教授
高倉 一紀	典 籍	皇學館大学 教授
櫻井 治男	民 俗	皇學館大学 教授
古家 信平	民 俗	筑波大学 教授
坂井 秀弥	史跡・考古	奈良大学 教授
千田 嘉博	史跡・考古	奈良大学 教授
森 勇一	地質鉱物	金城学院大学 講師
伊藤 進一郎	植 物	三重大学 名誉教授
藤井 伸二	植 物	人間環境大学 准教授
森 誠一	動 物	岐阜経済大学 教授

第1回審議会

期 日	平成25年7月1日(月)
場 所	三重県合同ビル(津市栄町1丁目891)
内 容	諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 審議 平成25年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について 報告 平成25年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について 上げ馬神事にかかる調査の結果について

第2回審議会

期 日	平成25年12月27日(金)
場 所	三重県庁舎講堂棟(津市広明町13番地)
内 容	審議 平成25年度三重県指定候補文化財の調査報告について 平成25年度三重県指定文化財の指定等について 答申 三重県指定文化財の指定等について 報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について

4 三重県指定文化財の指定等

(1) 三重県指定文化財の指定

延命寺山門 (えんめいじさんもん)

種別	有形文化財 (建造物)
員数	1棟
時代	室町時代
所在地	松阪市射和町249
所有者	延命寺
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	建50
概要	

延命寺は松阪市射和町に所在する浄土宗鎮西派の寺院である。櫛田川北岸に沿った道に一段高く山門を開き、門の南西側に鐘楼、奥に近年新築した本堂を配置する。

山門は一間一戸の四脚門で、親柱を円柱、控柱を大面取りの角柱とし、親柱同士を上部から落とし込んだ一材の冠木、控柱は虹梁形頭貫でつなぐ。親柱、控柱間は頭貫、腰貫及び腰長押でつなぎ、頭貫の中央親柱に輪薙ぎ込む部分には下部に女梁を添えて冠木を挟み込む。組物は控柱筋を大斗肘木とし、親柱は大斗で梁行きの虹梁の中央を支える。控柱筋の中備に板臺股を置き、親柱筋には中備を置かない。虹梁中央に板臺股を載せ、臺股上の大斗肘木で棟木を支える。軒は二間繁垂木で、地垂木は桁上で折って造り、先端は反りと増しを付け、飛檐垂木には明確な抜きを付ける。桁、木負、茅負には真反りに近い大きな反りを付ける。破風は折って造った地垂木の形を反映した中央に曲率のきつい部分を持つ古い形で、先端を鯖の尾に造る。扉は一度造り替えられているが、軸上部を冠木に、下部を唐居敷に開けた軸摺穴に建て込む。部材には所々に赤色顔料、木口黄土の痕跡が残り、当初は塗装が施されていたことがわかる。

山門北西の降鬼に「文明十五戌五月吉日 延命寺惣門 多気御所ヨリ建立 開山光誉浄阿代」の籠書があり、これと対になる北東の降鬼には享保十三年の年号があるが、これらは阿吽一對の同技法のものであり、また、文明15年(1483)の十二支を錯誤して



いることから(同年は卯年)、享保期のものと考えられる。

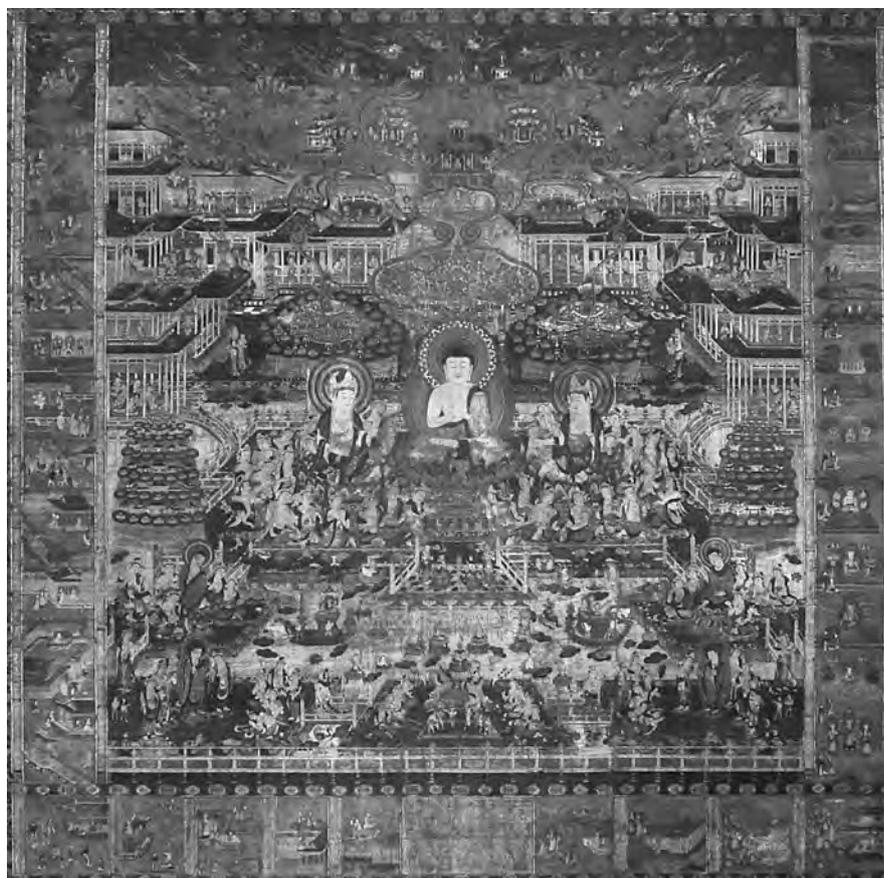
小規模な建築であるが、県内では島ヶ原の観菩提寺本堂、楼門に次いで、また、旧伊勢国では最も建築年代が古い木造建築であると考えられる。

絹本著色 当麻曼荼羅図 (けんぼんちゃくしょく たいままだらず)

種別	有形文化財(絵画)
員数	1幅
時代	室町時代
所在地	桑名市伝馬町
所有者	宗教法人十念寺
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	絵41
概要	

当麻曼荼羅図は、当麻寺に伝来する「観無量寿経变相図」、いわゆる「当麻曼荼羅」原本に基づく図様で、原本は奈良時代または唐時代制作であるが、鎌倉時代以降に浄土宗の西山派の証空上人によってその価値が再認識され、種々の転写本が流布するにいたったという来歴をもつ。本図もその一つで、縮小版にあたる。十念寺は浄土宗寺院で、当麻曼荼羅図が伝わるのにふさわしい。

画面は絹幅の広い一枚絹からなっている。これは当麻曼荼羅図の遺例にしばしば観察される方式である。画面中央に、阿弥陀如来を中心とする西方極楽浄土を大きく表し、その左右辺と下辺に帯を設けて、向かって左には韋提希夫人の物語、右には極楽を観想するための十三観および九品往生図を配置している。これは当麻曼荼羅図の通例と同じである。仏菩薩は金泥身に朱線で描き起こされ、着衣には截金文様が施される。十三観および九品往生図では墨線あるが、彩色も併用していて丁寧な描かれているのが特色である。室町時代も前半に遡る制作であろう。



裱背下部に、修理時の結縁者と思われる人名が列挙された貼付紙がある。これは同寺院に伝わる「仏涅槃図」に見られる天正十八年(1590)の修理銘とほぼ同筆のようで、おそらく同時に修理されたことを示すとともに、早くから伝来していたことの傍証になる。

絹本著色 虚空蔵菩薩像 (けんぼんちゃくしよく こくうぞうぼさつぞう)

種別	有形文化財 (絵画)
員数	1幅
時代	南北朝時代
所在地	津市大門
所有者	大宝院
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	絵42
概要	

虚空像菩薩は福智を司る菩薩とされ、東大寺大仏殿の脇侍として表されるなど古くから信仰があった。密教導入以降は、虚空像を本尊とする儀礼は福德法と求聞持法と呼ばれる二種の目的に大別され、それぞれに図像が規定されていた。求聞持法は、智慧を増強させる行法で、弘法大師がこれを励行したことはよく知られている。

この大宝院の画像は、やや巾の広い一枚絹からなる。画面中央の大きな月輪内に、右手に剣、左手に宝珠を載せた蓮華茎をとり、蓮華座に坐る姿で、蓮華座には茎が支柱のように表されている。菩薩は五智宝冠を戴く。こうした特色を持つ虚空蔵菩薩の図像は求聞持法の本尊とされるものだが、右手の持ち物が通常は与願印であるのに対し、剣を持つ点が独特である。画面下段には、一箇宝珠と三戸宝珠を交互に配置した区画を設けている。

菩薩の肉身は金泥とし、朱線で描き起こす。着衣部は彩色地に金泥文様を加えているが、放光や界線は截金を用いている。伝統的手法になる濃彩の仏画で、形に破綻がなく、南北朝時代の制作と思われる。

旧表装には、近江八幡の長光寺にあった旨の墨書があり、いずれかの時期に大宝院の所有となったものである。(但し、旧装は現存せず、元治元年(1864)の控帳に裏書等の写しの記載がある。「本書附日 江戸長光從兩圓坊行源印付属/権大僧都長慶 修補長位 六大院長辨假修補之」)



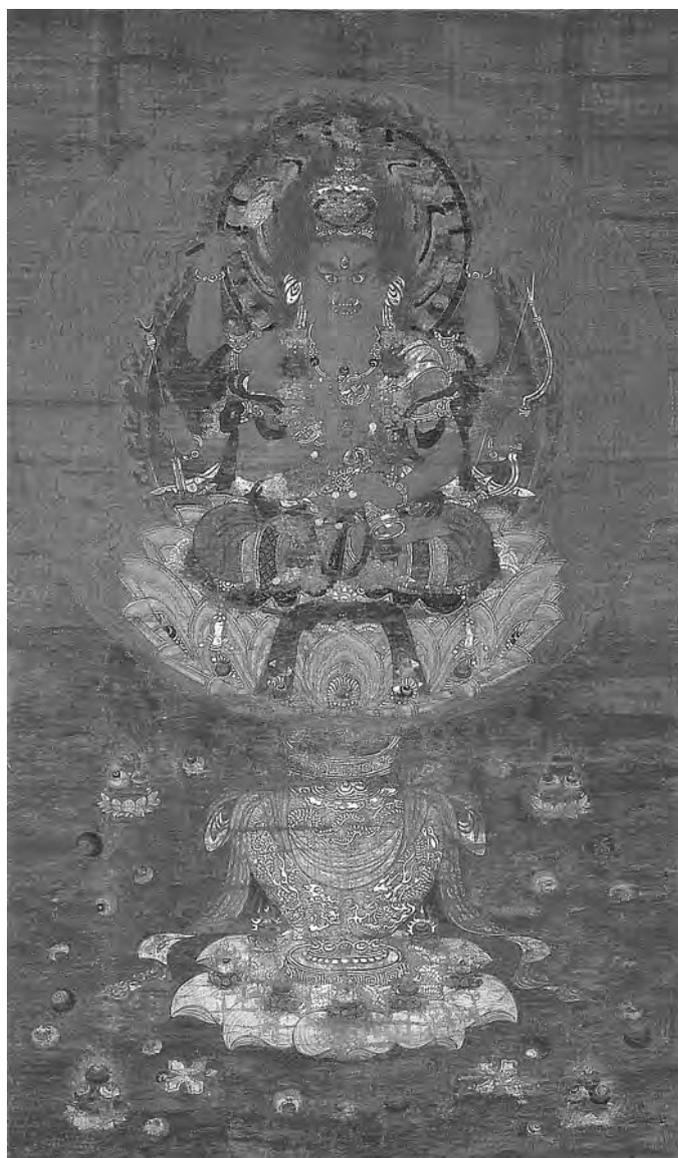
絹本著色 愛染明王像 (けんぼんちゃくしよく あいぜんみょうおうぞう)

種別	有形文化財 (絵画)
員数	1幅
時代	室町時代
所在地	津市大門
所有者	大宝院
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	絵43
概要	

宝瓶上の蓮華座に座す一面三目六臂の愛染明王像で、怒髪に獅子冠を戴く姿に表わされる。これは『金剛峯楼閣一切瑜伽瑜祇経』に説かれている愛染の像容で、図像としては最も一般的なものである。右第一手に五鈷杵、第二手に箭、第三手に蓮華茎、左第一手に五鈷鈴、第二手に弓をそれぞれ持ち、左第三手は拳印とする。愛染明王を

本尊とする修法つまり愛染王法は、さまざまな目的に対応するとされ、その種別に応じて左第三手の持物が変化する。第三手を拳とするのは、修法の行者が持物を観想するのに任されるためである。

画面は絹二枚を用い、うち一枚を断ち切って左右に継いでいる。作風は伝統的なもので、表現には形式化もうかがえるが、仕上げは丁寧で彩色の残りもよい。持物や装身具に金泥を用いる一方、円光や光背の輪郭には截金線を使用している。様式から判断して、室町時代半ば過ぎの制作と思われる。



絹本著色 大威徳明王像 (けんぼんちゃくしよく だいいとくみょうおうぞう)

種別	有形文化財(絵画)
員数	1幅
時代	室町時代
所在地	津市大門
所有者	大宝院
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	絵44
概要	

海中を疾駆する牛の背に、六面六臂六足で立つ大威徳明王像を描いたもの。大威徳は、五大明王の一尊として扱われるほかに、単独でも大威徳法の本尊とされた。通常は牛座とともに坐った図像で表されるが、中世以降には唐招提寺本、根津美術館本ほか、本図のような立像で描かれる例が現れる。戦勝祈願への強い思いが、こうした図像を支持していたと想定されている。



本図の画面は1枚絹からなり、尊像は伝統的な手法で彩色豊かに描かれる。六臂の持物は、右第一手に宝棒、第二手に箭、第三手に劍、左第一手に蛇、第二手に弓、第三手に三叉戟となり、胸に髑髏の瓔珞、冠にも髑髏飾りを着している。着衣文様や装身具は金泥で表されているが、弓の弦など一部には截金線もみられる。牛の面構えや海波の表現には勢いがあり、制作目的を反映した描写となっている。

元の袂背には、永禄五年(1562)に六大院(大宝院の前身)に寄付されたことが記され、また宝暦七年(1757)、嘉永元年(1848)に修理されたことがわかる。寄進された永禄五年からさほど遡らない時期の制作と思われる。

(「古表具裏書寫/永禄五壬戌歳八月十五日現住長政之印 六大院長實代寄附之/寶暦七丁丑年三月十三日長辨上人修覆之□/□后及破壊嘉永元年孟夏日當院時之院代大願寺良貞再修補之畢/嘉永元戊申年仲夏日 大寶院現主本長誌之」)

絹本著色 十二天像 (けんぼんちゃくしよく じゅうにてんぞう)

種別 有形文化財(絵画)
 員数 4幅
 時代 室町時代
 所在地 津市大門
 所有者 大宝院
 告示 教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
 指定日 平成26年1月23日
 指定番号 絵45
 概要

十二天は、密教の道場を守護する方位の神々で、四方四維の八方に上下の二方、さらに日月を加えた十二方を一具とする。密教を伝授する伝法灌頂の儀礼の折に、掛幅または屏風の形式で、道場の周縁部に配された。平安時代には坐像で表されたが、鎌倉時代以降は立像形式が多い。本作品は立像の十二天で、現在三天を1幅に充てて4幅仕立てにしている。

【第1幅】火天・帝釈天・伊舎那天 【第2幅】水天・羅刹天・焰摩天
 【第3幅】梵天・毘沙門天・風天 【第4幅】月天・日天・地天

もとの形状を考えると、屏風装としてはやや丈が短く、各天を一幅ずつにした十二幅だった可能性が高い。粗い絹目のため、後世の修理の際に絵具が剥落している箇所が目につく。制作は室町時代半ばごろと思われる。

所蔵する大宝院は、観音寺の塔頭の棟梁寺院であるが、観音寺には他に6つの塔頭があったとされ、この十二天像はそのうちのひとつ恵音院に伝えられたものとされる。寺伝では、恵音院が室町幕府第6代将軍足利義教のとき、足利氏の祈願所となった際の

の遺品と伝えられており、表装の内回しには枝菊及び足利將軍家の家紋を散らした裂を用いている。



絹本著色 十二天像 (火天・帝釈天・伊舎那天)

絹本著色 弘法大師像 (けんぽんちゃくしよく こうぼうたいしぞう)

種別	有形文化財(絵画)
員数	1幅
時代	鎌倉時代
所在地	津市大門
所有者	大宝院
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	絵46
概要	

真言宗の宗祖弘法大師を描いた画像で、絹三枚継ぎで一画面を構成している。椅子式の牀座に座し、右手首を反して五鈷杵を握り、左手に数珠をとる。いわゆる真如親王様と呼ばれる図様である。肉身線は細勁な墨線で、唇に朱のぼかしを入れている。衣文線は墨線ではなく赤茶色の線を用いている。牀座は墨の輪郭に朱のぼかしを加えている。弘法大師の持物や、牀座の金具部分は裏箔または裏彩色を使用していると想像するが、確認できない。

全体に表現はかたいものの描写が丁寧で、素材の絹地も細かく、鎌倉時代後半に遡る制作とみて大過ない。牀座の下に「泉涌寺」「真言院」の墨書があるのは、もと京都泉涌寺の什物で、何らかの事情により移動したものであることを示す。

画面上部には賛文が記される。「ト居高野樹下／遊神都率臺上／不闕日々影向／檢知處々遺跡」と読めるが、賛者は不明である。賛文中の「都率臺」は、中世以前に成立した伝説によるもので、空海が入定しているとされる兜率天浄土を指している。



伊水温故（菊岡如幻自筆本） 附 紙本着色菊岡如幻自画自賛像

（いすいうんご（きくおかじょげんじひつぽん） つけたり しほんちやくしよくきくおかじょげんじがじさんぞう）

種別	有形文化財（典籍）
員数	4巻4冊 附 1幅
時代	江戸時代前期（貞享4年（1687）脱稿）
所在地	伊賀市上野丸之内40-5
所有者	伊賀市
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	典65
概要	

伊賀上野福居町の豪商で、伊賀を代表する和学者である菊岡如幻（行宣）の自筆稿本。貞享4年（1687）脱稿、津藩3代藩主藤堂高久（1638－1703）の命により、既に成立していた中書本に改稿の手を加えたものと考えられる。内容は伊賀1国の地誌で、伊賀4郡、即ち阿拝・山田・伊賀・名張の各郡を1巻1冊に仕立てた全4巻4冊本。

各巻の構成は、初めに郡名の由来等を略記し、次に郷村名を掲げて、郡内名所旧跡・社寺の由来や伝説、縁起等を記す。執筆にあたっては、関係文献の博搜のみならず、自序によると実地踏査や民間口碑の聞き取りをも実施したという。

但し藩主藤堂高久への献上を目的とする本書は、江戸時代を通して版行されることなく、現在その諸本は、国立国会図書館・内閣文庫・神宮文庫ほかに転写本10数部が確認されるのみである。また『伊水温故』の定稿本は、既に当該献上本の現存は確認できない。したがって、現存唯一の自筆本としての本書の存在意義は極めて大きい。また、それは伊賀地域研究における不可欠の1書であるとともに、近世前期の伊賀商人層の知性と教養の実態を物語る資料としても注目に値するものである。



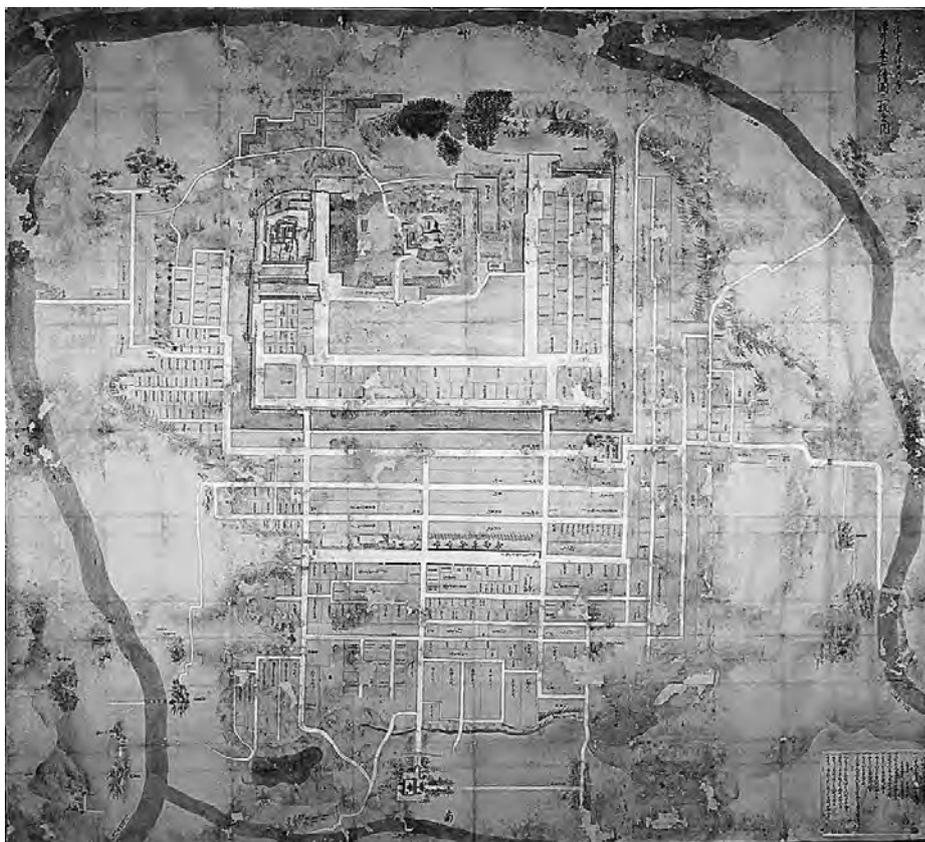
伊賀上野城下絵図 (いがうえのじょうかえず)

種別	有形文化財（歴史資料）
員数	1 舗
時代	江戸時代初期（寛永10年(1633)頃か）
所在地	伊賀市
所有者	個人
告示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第2号
指定日	平成26年1月23日
指定番号	歴7
概要	

伊賀上野城絵図は、江戸時代初期の伊賀上野城下を描いたもので、現存する上野城下絵図としてはおそらく最古のものである。

慶長13年(1608)、藤堂高虎が伊賀上野と伊勢津の二城主に封ぜられた後、元和5年(1619)に高虎の弟出雲守高清が上野城代となり、寛永17年(1640)に没したが、本図には「藤堂出雲下屋敷」が描かれていることから、それ以前の上野城下を描いたものと考えられる。また本図には、高虎入国以前、筒井氏時代のものと思しき三層の天守閣が旧本丸の位置に描かれているが、『宗国史』寛永10年(1633)8月10日条によると、古天守はこの日、大風雨で倒壊したことが知られるので、それ以前のものとして推定される。

作成の経緯は不明であるが、絵図左上角の貼紙（本来は裏書、修復の際剥がして表面に貼りなおしたもの）に、「元禄十丑年染井御蔵より出ル、染井より来古絵図三枚之内」とあり、江戸染井にあった藤堂家別邸の蔵から、元禄10年(1697)に発見された古絵図三枚のうち一枚であることが知られる。元禄10年の時点で既に「古絵図」と称



されていることから、景観年代である寛永10年をさほど下らない時期に作成され、藤堂家江戸屋敷に伝来していたものと考えられる。なお「古絵図三枚」の内残り二枚の所在は不明である。

鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術

(とば・しまのあまによるでんとうてきすもぐりりょうぎじゅつ)

種 別	無形民俗文化財
所 在 地	鳥羽市内・志摩市内
保 持 団 体	鳥羽海女保存会・志摩海女保存会
告 示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第3号
指 定 日	平成26年1月23日
指 定 番 号	無民42
概 要	<p>「海女」とは一般に海に潜って貝・海藻等を取ることを職業とする女性のことを指すが、厳密に言えば、『漁業者として地域に認められ、身体一つで海中に潜り簡単な道具で貝類等を採捕し、歴史的な背景があり長期間継続されている漁の技術や、昔ながらの日常習慣を、継承し体現している女性』を指す。鳥羽・志摩の海女による素潜り漁は、「女性の素潜り漁が継続されてきた歴史」、「漁場を識別する能力」、「伝統的な漁具を継承し、男女の役割分担を生み出す地域性」、「地域社会が、海女の存在を許容するとともに海女を職業として認めている」、「古代から続く伊勢神宮と当該地域との関係」といった部分に特色がある。</p> <p>これらから、生産・生業に関わる民俗技術として捉えることができ、鳥羽・志摩地域だけではなく、日本の漁撈生活の推移の理解のために欠くことのできないものである。</p>



加太のかんこ踊り（かぶとのかんこおどり）

種 別	無形民俗文化財
所 在 地	亀山市加太市場、加太向井、加太板屋、加太中在家、加太北在家
保 持 団 体	加太市場自治会、向井盆踊り保存会、板屋羯鼓踊り保存会、 加太中在家自治会、北在家タイコ踊保存会
告 示	教育公報号外三重県教育委員会告示第9号
指 定 日	平成26年3月7日
指 定 番 号	無民43
概 要	

加太川上流の河谷域に点在する集落のうち5地区に伝わる踊りで、初盆供養のなかで「太鼓踊り」と称し踊られる。踊り場中央には花飾りを付けた灯籠を天蓋状につるしたり、大きな雪洞を地面に立てたりする。踊りはガクと称する長胴の太鼓を打ち、笛と唄が加わり、踊り子は胸に曲げ物でつくられた締太鼓(羯鼓)をつけ、両手に撥をもち打ち鳴らしながら踊る。地区ごとに踊りの内容や呼称、出で立ち等が多少異なり、ジュンヤク踊りや獅子頭を付けた踊りを踊る地区もある。

5か所が内容的に多少の異なりを見せるとはいえ、共通した踊りを継承していることは貴重である。また、「じんにゃく踊り」「獅子踊り」といった民俗芸能として注目される踊りが伝承され、学術的にも意義深い内容となっている。本県内に比較的広く分布する「かんこ踊り」の一種ではあるが、これがまとまって伝承されている地域のあり方、踊りが伝える時代性、民俗文化の東西交流の姿をうかがわせる内容など貴重な価値を有する。



北在家のかんこ踊り <まいの切り(獅子踊り)>

立阪神社獅子舞（たつさかじんじゃししまい）

種 別	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
所 在 地	四日市市垂坂町
選 択 日	平成25年12月27日
概 要	<p>弘化元(1844)年に垂坂の麴組合と他の麴組合との間で商権が確定したのを祝い、獅子舞をしたのが起源とされる。毎年、10月17日以前の直近の土、日曜に行われる例大祭(神嘗祭)に、立阪神社境内で獅子舞を奉納する。獅子舞は2人立ち獅子で頭に青年、後舞いに小学生が入り、それに獅子あやしである小学生の口取りがつく。囃子は太鼓一人と数人の横笛で行う。「花の舞」という鞠を使った放下芸を含んでいるのが特徴である。神楽獅子舞で、箕田流に属す。</p> <p>垂坂町7町(約1,100戸)の住民を中心として保存会が結成されており、小学生から青年、さらに年配の方々へと後継者の育成が組織的に行われている。</p> <p>四日市市内には他にも箕田流として伝播した獅子舞があり、それらとの間にどのような関係があるのか明らかにする必要がある。</p>



神社奉納（飛びささら）

(2) 三重県指定文化財の解除

専修寺山門

種 別	有形文化財（建造物）
員 数	1 棟
時 代	江戸時代
所 在 地	津市一身田町2819番地
所 有 者	宗教法人専修寺
告 示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第4号
解 除 日	平成25年8月7日
理 由	国重要文化財の指定（平成25年8月7日付文部科学省告示第129号）

専修寺唐門

種 別	有形文化財（建造物）
員 数	1 棟
時 代	江戸時代
所 在 地	津市一身田町2819番地
所 有 者	宗教法人専修寺
告 示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第4号
解 除 日	平成25年8月7日
理 由	国重要文化財の指定（平成25年8月7日付文部科学省告示第129号）

専修寺御廟拝堂及唐門

種 別	有形文化財（建造物）
員 数	1 棟
時 代	江戸時代
所 在 地	津市一身田町2819番地
所 有 者	宗教法人専修寺
告 示	教育公報第1683号三重県教育委員会告示第4号
解 除 日	平成25年8月7日
理 由	国重要文化財の指定（平成25年8月7日付文部科学省告示第129号）

5 市町指定文化財の指定・解除

(1) 市町指定文化財の指定

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	指定日
津市	工芸品	岩田橋銅製擬宝珠	4個	津市安東町	津市	H25.3.29
亀山市	古文書	波多野文書	9通	亀山市若山町	個人	H24.6.12
亀山市	建造物	旧田中家住宅	5棟	亀山市関町新所 字東町	亀山市	H24.6.12
伊勢市	考古資料	蓮台寺瑞花双鳳文八稜鏡	1面	伊勢市勢田町 蓮台寺区	勢田町 農家組合	H25.6.17
伊勢市	工芸品	風宮十三仏石塔	1基	伊勢市宇治 浦田3丁目	個人	H25.6.17
松阪市	史跡	松阪商人 長谷川治郎兵衛家旧宅		松阪市魚町、 殿町	松阪市	H25.5.20
尾鷲市	無形文化財 (工芸技術)	尾鷲わっぱ製作技術		尾鷲市大字 向井	個人	H25.8.26
尾鷲市	天然記念物	ジュロウカンアオイ自生地		尾鷲市	尾鷲市	H25.10.9
桑名市	天然記念物	力尾地区嘉例川火山灰層		桑名市多度町 力尾	桑名市	H25.10.9

(2) 市町指定文化財の解除

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	解除日
津市	彫刻	木造十一面観音立像	1軀	津市一身田中野	一身田中野区 自治会	H25.3.25
亀山市	古文書	波多野文書	9通	亀山市若山町	個人	H25.3.25
伊賀市	建造物	石造五輪塔	1基	伊賀市川東	阿弥陀寺	H25.4.25
伊賀市	彫刻	木造十一面観音立像	1軀	伊賀市島ヶ原	観善提寺	H25.4.25
伊賀市	天然記念物	高尾 逆柳の甌穴		伊賀市高尾 字逆柳	伊賀市	H25.4.25
四日市市	無形民俗文化財	大念仏		四日市市 東日野町、 西日野町	東日野町大念 仏保存会、 西日野町大念 仏保存会	H25.3.25
尾鷲市	無形文化財 (工芸技術)	木工技術			個人	H26.2.11

II 県実施の調査・保護事業

1 特別天然記念物カモシカ（S30.2.1指定）調査〔国2/3 1,541千円補助・県 457千円〕

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

① 調査目的

おおむね8年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成25年度は特別調査の行われない年で、紀伊山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

② 調査体制

調査主体	三重県教育委員会(幹事県)・奈良県教育委員会 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査は、業務の効率化等を図るため、関係2県の中から幹事県を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議の運営に関する事務を一括して実施する。幹事県は三重県。
調査指導	富田 靖男(元三重県立博物館長・指導委員会議会議長) 武田 明正(三重大学名誉教授) 山野 直也(元日本カモシカセンター職員)
現地調査	三重県文化財保護指導委員(カモシカ調査員) 今西 隆次・河合 信行(松阪市) 岡本 宏之・水谷 哲也(大台町) 玉津 直人・宮坂幸治郎(紀北町紀伊長島区) 三浦 英俊・川端 将文(紀北町海山区) 吉澤 映之・吉澤 重之(尾鷲市)

③ 紀伊山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日	平成25年8月20日(火)
場所	大台町役場 会議室
出席者	富田 靖男(元三重県立博物館長・指導委員会議会議長) 三重県文化財保護指導委員(カモシカ調査員) 関係市町教育委員会・県教育委員会

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

① 調査目的

おおむね8年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成25年度は特別調査を行わない年で、鈴鹿山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

② 調査体制

調査主体	三重県教育委員会
調査指導	富田 靖男(元三重県立博物館長・指導委員会議会議長) 武田 明正(三重大学名誉教授) 山野 直也(元日本カモシカセンター職員)
現地調査	三重県文化財保護指導委員(カモシカ調査員) 坂倉 義行・近藤 恒三(いなべ市藤原町)

小森 良一・出口 幸雄 (いなべ市北勢町)
 岩花 正己・山下 久雄 (いなべ市大安町)
 満田 学・橋本 幸彦 (菰野町)
 棚瀬 順正・棚瀬賢一郎 (四日市市)
 前田 有・前田 伸士 (鈴鹿市)

③ 鈴鹿山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日 平成25年 8月21日(水)
 場所 菰野町役場 4F会議室
 出席者 武田 明正 (三重大学名誉教授)
 三重県文化財保護指導委員 (カモシカ調査員)
 関係市町教育委員会・県教育委員会

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

目的 特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・
 個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、
 食害対策等について協議する。
 主催 文化庁・群馬県教育委員会
 片品村・片品村教育委員会
 期日 平成25年10月10日(木)～11日(金)
 会場 群馬県利根郡片品村土出 岩鞍リゾートホテル
 (越後・日光・三国山地カモシカ保護地域)
 参加者 富田 靖男・武田 明正 (三重県指導委員)
 藤原 良幸 (三重県教育委員会事務局)

2 埋蔵文化財緊急発掘調査等

(1) 国史跡齋宮跡発掘調査〔総事業費 16,150千円うち 国1/2 8,075千円・県1/2 8,075千円〕

国史跡齋宮跡解明のために、計366.2㎡の計画調査を実施した。史跡東部にある方格地割のうち、下園東区画および周辺の実態を解明するための調査である。

このほか、発掘調査GISデータによる調査管理システムの更新・管理と、第171次調査出土の鉄製刀子の保存処理、史跡東部柳原区画の発掘調査成果をまとめた「齋宮跡発掘調査報告Ⅱ 柳原区画の調査 遺構・遺構総括編」の刊行を行った。

次数	地区	面積㎡	現地調査期間	主要遺構・遺物
180	下園地区	96.6	H25.7.23～ H25.9.27	下園区画内にシンメトリーに配置される大型掘立柱建物、土坑等を検出。 土師器・須恵器・緑釉陶器・製塩土器等が出土。
181	楽殿地区	269.6	H25.7.23～ H25.12.6	方格地割北辺道路側溝に関連するとみられる溝、掘立柱建物、竪穴住居、土坑等を検出。 土師器・須恵器・ロクロ土師器等が出土。

(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査

〔農林水産部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費 57,339千円うち農家負担分3,601千円
国1/2 1,800千円・県 1,801千円〕

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m ²	主要遺構・遺物
堀町遺跡	松阪市朝田町	高度水利機能確保基盤整備事業	H25. 5. 15～ H26. 2. 27	5,463	竪穴建物・埋設土器・掘立柱建物・井戸・土坑・溝・流路、縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶器・陶磁器・製塩土器・土製品・陶製井戸椀・瓦・石製品・木製品・金属製品・獣骨等
中坪遺跡	松阪市立田町	高度水利機能確保基盤整備事業	H25. 5. 15～ H26. 2. 27	1,955	井戸・土坑・溝、縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶器・陶磁器・平瓦・土製品・木製品・金属製品・馬骨等
山見遺跡	多気郡多気町下出江	高度水利機能確保基盤整備事業	H25. 10. 1～ H25. 10. 18	492	溝・土坑・ピット、土師器・山茶碗
田丸道遺跡ほか	度会郡玉城町中楽ほか	高度水利機能確保基盤整備事業			整理作業 報告書作成
東ノ谷遺跡	多気郡多気町大字笠木	県営かんがい排水事業			整理作業 報告書作成
計				7,910	

(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理 〔国 1/2 900千円・県 1/2 900千円〕

伊勢市落合古墳群、亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成25年度は、合計22点の鉄鍬(長頸鍬)の保存処理を実施。(処理受託 株式会社吉田生物研究所)

3 新たな地域文化発掘推進事業

海女習俗詳細調査〔事業費 2,600千円うち 国 1/2 1,300千円・県 1,300千円〕

平成24年度から鳥羽志摩地域の「海女習俗」に対して、聞き書きを中心とする民俗調査を2ヶ年計画で実施している。調査内容としては、海女の持つ民俗知識、地域の民俗社会や歴史の情報を把握することを目的として、海女漁の従事者本人を対象に、聞き書き調査や文書所在確認を実施するとともに、調査結果を取りまとめ、調査報告書を刊行した。

当年度は、引き続き国庫補助を受け、事業費のうち2,600千円については国庫補助事業「海女習俗詳細調査 民俗文化財調査」(国費補助率1/2)として実施した。

事業に対して学術的な助言等を得るため、学識経験者に「調査指導委員」を依頼し、調査指導委員会議を開催した。また、現地調査にあたっては、「調査員」を依頼するとともに、現地調査の情報共有を図るため合同調査会を実施した。

① 調査指導委員

植木 行宣 (前三重県文化財保護審議会委員) *民俗学
櫻井 治男 (皇學館大学教授) *民俗学
塚本 明 (三重大学教授) *歴史学
小島 孝夫 (成城大学教授) *民俗学
野村 史隆 (鳥羽市教育委員会) *民俗学
吉村 利男 (三重大学客員教授) *歴史学

② 調査員

伊藤 幸治、伊藤 芳正、岡本ほのか、橋本 好史、山本 実、山本恵美加、
小川 真衣、松村 春恵、杉山亜有美、川口 祐二、船山 直利、中井 裕子、
畑 純子、濱野 大智、山下 良子

③ 調査指導委員会議

第1回 開催日時 平成25年5月27日(月) 13:30から
開催場所 三重県庁7階 教育委員会第一会議室
第2回 開催日時 平成25年9月13日(金) 13:30から
開催場所 三重県庁7階 教育委員会第一会議室
第3回 開催日時 平成25年12月16日(月) 13:00から
開催場所 三重県庁7階 教育委員会室

④ 合同調査会

第1回 開催日時 平成25年7月7日(日) 13:30から
開催場所 鳥羽市中央公民館

4 史跡等総合活用支援推進事業

(1) 史 齋宮跡 [事業費 315,506千円うち 国 1/2 157,753千円・県 1/2 157,753千円]

事業概要 平成21年度に作成した「史跡齋宮跡東部整備基本計画書」に基づき、平安時代の齋宮寮の寮庁の一画だったと考えられる柳原区画とその周辺部の整備事業を実施する。

25年度事業 史跡東部柳原区画において、復元建物3棟の建築工事に着手した(完成予定H27年)。

(2) 県内埋蔵文化財 [事業費 3,680千円うち 国 1/2 1,840千円・県 1/2 1,840千円]

埋蔵文化財を題材とした学習教材を製作し、児童を対象として学校(県内10小学校)への出前授業・講座や体験イベント等の各種事業において活用した。平成25年度は「食器・食事模型と食事パネル」、「学習カード(食事メニュー)」、「三重の城すごろく」、「三重の城ノート」を作製した。

5 重文 三重県斎宮跡出土品 美術工芸品保存修理

[事業費 2,040 千円うち 国 1/2 1,020 千円・県 1/2 1,020 千円]

① 事業概要

斎宮跡出土品について保存修理を行う。平成25年度は、緑釉陶器1点、土師器2点、土馬1点、磁器1点、灰釉陶器1点、小型模造品1点の解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩を行った。

② 事業期間

平成25年5月15日から平成26年3月31日

③ 修理委託

株式会社 吉田生物研究所

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物保存修理事業

重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟〔H14.12.26指定〕

事業者 公益財団法人 諸戸財団

事業費 総事業費 2,200,000千円 (平成22～31年度)

平成25年度 200,000千円 [国85% 170,000千円・県7.5% 15,000千円]

事業概要 平成22～31年度で主屋ほか5棟の解体・半解体工事を行う。平成25年度は、広間の構造補強工事、玄関及び座敷の揚屋・解体、地盤改良工事、洋館及び風呂便所の地盤改良工事に伴う発掘調査を行った。

設計監理 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社 竹中工務店三重営業所

(2) 建造物防災施設事業

重文 町井家住宅主屋及び書院〔S50.6.23指定〕

事業者 個人

事業費 13,759千円 [国85% 11,695千円・県10% 1,375千円]

事業概要 昭和55年度に国庫補助事業で施工した防災施設が、機器及び配管等において経年劣化が進み、不具合が生じていたため、消火設備改修工事及び警報設備改修工事を行った。

設計監理 永田設計事務所

工事請負 ニッタン株式会社

(3) 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市

事業費 23,000千円 [国50% 11,500千円・県7% 1,610千円]

事業概要 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区区内における建造物等の保存のための修理・修景工事。平成25年度は修理3件を行った(半解体修理3件)。うち、1件は寺社の修理で、来年度までの2ヶ年で修理を行う。

設計監理 中浦建築事務所

シンカイ設計

工事請負 地元建築会社等

(4) 伝統的建造物群保存対策調査事業(防災)

重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市

事業費 2,000千円 [国50% 1,000千円・県7% 140千円]

事業概要 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物群及びこれと一体をなす環境の保存状況に関する調査及びこれに基づく保存防災対策の策定(2ヶ年事業の2年目)。

業務委託 地元業者他

(5) 文化財建造物等活用地域活性化事業

① 重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市
事業費 12,500千円〔国50% 6,250千円・県7% 875千円〕
事業概要 旧田中家住宅を公開活用するため、平成24年度から2ヶ年で、主屋の修理・整備、敷地内の非伝統的建造物の修景・整備、敷地及び付属施設の整備を行う。平成25年度は、主屋の修理・整備、便益施設の整備等を行った。
設計監理 ARTS アーツ設計
工事請負 白川建設株式会社

② 登録 白川小学校校舎南棟及び北棟〔H21.8.7登録〕

事業者 亀山市
事業費 総事業費 199,494千円（平成24～26年度）
平成25年度 96,073千円〔国50% 48,036千円・県10%以内 7,393千円〕
事業概要 平成24～26年度で耐震工事を行う。平成25年度は南棟の耐震補強工事を行った。
技術指導 株式会社 文化財構造計画 富永善啓
工事請負 白川建設株式会社
工事監理 株式会社 アスカ総合設計

(6) 美術工芸品保存修理事業

① 重文 専修寺聖教〔H20.7.10指定〕

事業者 宗教法人 専修寺
事業費 3,610千円〔国50% 1,805千円・県10% 361千円〕
事業概要 専修寺聖教82点のうち6冊について修理を行う。平成25年度は「法事讃卷上」・「法事讃卷下」・「往生礼讃偈」・「観念法門」・「般舟讃」・「般舟讃」について調査、解装、クリーニング、本紙補修等を行った。
修理委託 株式会社 松鶴堂

② 重文 佐藤家文書〔H23.6.27指定〕

事業者 公益財団法人 石水博物館
事業費 3,662千円〔国55% 2,014千円・県10% 366千円〕
事業概要 佐藤家文書七巻の修理を平成24・25年度の2ヶ年で行う。平成25年度は総裏打ち、卷子装への仕立て、保存箱の新調等を行い、事業を完了した。
修理委託 株式会社 松鶴堂

③ 重文 松浦武四郎関係資料〔H20.7.10指定〕

事業者 松阪市
事業費 7,510千円〔国50% 3,755千円・県7% 525千円〕
事業概要 松浦武四郎関係資料の保存修理を平成25～29年度の5ヶ年で行う。平成25年度は、蝦夷屏風について、調査、屏風装の解体、本紙の補修を行った。
修理委託 株式会社 坂田墨珠堂

(7) 美術工芸品調査事業

長谷川家資料
事業者 松阪市

事業費	総事業費 17,000千円（平成25～29年度） 平成25年度 3,000千円〔国50% 1,500千円・県7% 210千円〕
事業概要	平成25～29年度の5ヶ年事業として第2次調査を行う。今回は、第1次調査で残った文書・書籍類に加え、美術工芸品や生活道具類についても調査を行い、目録化を行う。平成25年度の調査は、文書・書籍を中心に、指導委員会の指導のもと月2回実施し、調査カード化及びカードをもとに整理・目録化を行った。
調査指導員	下村 登良男（松阪市文化財保護審議会会長） 門 暉代司（松阪市文化財保護審議会委員） 高倉 一紀（皇學館大学教授） 塚本 明（三重大学教授） 茂木 陽一（三重短期大学教授）
指導委員会	平成25年6月28日

(8) 美術工芸品防災施設事業

① 重文 木造十一面観音立像〔T2.8.20指定〕

事業者	宗教法人 近長谷寺
事業費	11,780千円〔国85% 10,013千円・県10% 1,178千円〕
事業概要	雷害により、平成21～23年度の国庫補助事業で設置した防災施設が被害を受けたため、今後同様の被害を防ぐために避雷針の設置および雷害で被災した消火設備等の復旧を行った。
設計監理	伊藤平左衛門事務所
工事請負	日本土建株式会社

② 重文 大般若経〔S37.2.2指定〕

事業者	宗教法人 常楽寺
事業費	418千円〔国50% 209千円・県10% 41千円〕
事業概要	重要文化財が保管されている収蔵庫に、非常通報装置や赤外線センサー、警報ベル、センサーライト、回転灯の設置を行うとともに、鍵の新設（2個）を行った。
工事請負	株式会社安全警備

(9) 重要無形文化財保持団体補助事業

重無 伊勢型紙〔S30.2.15 保持者認定、H5.4.15 指定・保持団体認定〕

事業者	伊勢型紙技術保存会
事業費	11,600千円〔国定額 10,000千円・県定額 700千円〕
事業概要	技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本のわざと美」などに作品を出品した。

(10) 民俗文化財伝承・活用等事業

① 重無民 桑名石取祭の祭車行事〔H19.3.7指定〕

事業者	桑名石取祭保存会
事業費	10,124千円〔国50% 5,062千円・県10% 1,012千円〕
事業概要	西船馬町祭車の本楽用水引幕、職人町祭車の破魔及び十二張山型の復元新調を行った。
工事請負	株式会社 川島織物セルコン、地元業者

② 重無民 上野天神祭のダンジリ行事〔H14. 2. 12指定〕

事業者 上野新町自治会
事業費 5,036千円〔国50% 2,512千円・県10% 502千円〕
事業概要 上野新町楼車の見送幕の復元新調及び鍔金具と裏板の修繕を行った。見送幕の復元新調は平成27年度まで継続する予定。
工事請負 株式会社 龍村美術織物、浜壇佛具金泉堂、株式会社 渡邊美術工藝

(11) 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

① 史 伊勢国分寺跡〔T11. 10. 12指定〕

事業者 鈴鹿市
事業費 30,000千円〔国50% 15,000千円・県7% 2,100千円〕
事業概要 平成18年度に作成した「史跡伊勢国分寺跡整備基本計画」に基づき、隣接する鈴鹿市考古博物館と一体となった整備事業を実施する。平成25年度は、給水設備・電気設備などの整備工事を実施するとともに、説明サインの設置工事を行った。

検討委員 伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
中島 義晴 (奈良文化財研究所)
加藤 二三子 (元鈴鹿市青少年育成市民会議会長)
桐生 明光 (国分町自治会長)
桐生 悦夫 (元河曲地区青少年育成町民会議会長)
箱崎 和久 (奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長)
橋爪 貴子 (NPO法人五十鈴塾理事)
八賀 晋 (三重大学名誉教授)
林 紘 (鈴鹿市考古博物館サポート会会長)
渡辺 寛 (皇學館大学名誉教授)

検討委員会 平成26年2月10日

② 史 旧豊宮崎文庫〔T12. 3. 7指定〕

事業者 伊勢市
事業費 8,898千円〔国50% 4,449千円・県7% 622千円〕
事業概要 史跡旧豊宮崎文庫の門および土塀の傷みが激しいことから、保存修理を実施する。門、土塀の一部解体を伴う修理は平成25年度をもって完了し、修理工事報告書を刊行した。また、発掘調査を行って、埋没して正確な位置が不明となっている南側の堀の遺構の確認を行った。

指導委員 菅原 洋一 (三重大学教授)
上野 秀治 (皇學館大学教授)
山澤 義貴 (伊勢市文化財保護審議会委員)

指導委員会 平成25年11月21日

③ 史 上野城跡〔S42. 12. 27指定〕

事業者 伊賀市
事業費 15,000千円〔国50% 7,500千円・県7% 1,050千円〕
事業概要 「史跡上野城跡保存整備(前期)実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより、文化財としての価値を顕在化し活用を図る。平成25年度は、崩落の危険があった表門石垣北面の解体修復工事及び修復箇所測量を行ったほか、台所門周辺において、発掘調査で検出された石組溝の修復工事や土舗装工事、説明板の設

置工事を実施した。

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
増 淵 徹 (京都橘大学教授)
高 瀬 要一 (紀伊風土記の丘館長)
千 田 嘉博 (奈良大学教授)
菅 原 洋一 (三重大学教授)

指導委員会 平成25年12月19日

④ 史 旧崇広堂〔S5.11.19指定〕

事業者 伊賀市
事業費 3,200千円〔国50% 1,600千円・県7% 224千円〕
事業概要 史跡旧崇広堂の東・南・西土塀は、平成17年頃より壁面のひび割れと漆喰壁の剥落等を生じているため、保存修理を実施する。平成25年度は、東土塀内側の修理工事を行った。また、書物蔵南面の軒先及び壁面の修理工事も実施した。

指導委員 鈴木 嘉吉 (元奈良国立文化財研究所長)
菅 原 洋一 (三重大学教授)

指導委員会 平成25年5月31日

⑤ 史 熊野参詣道〔H14.12.19指定〕

事業者 御浜町
事業費 6,730千円〔国70% 4,711千円〕(災害復旧)
事業概要 史跡熊野参詣道のうち御浜町内に位置する通称「横垣峠道」が平成23年の台風12号によりき損したため、その復旧を実施する。路面の整備や階段・手摺等の設置によって道を復旧したほか、古道まで崩落が及んでいる部分については迂回路を設置するなどして、道として歩けるよう整備した。また、安全対策のための進入防止柵や看板等の設置を行った。

現地指導 坂井 秀弥 (奈良大学教授)
平成25年8月2日・3日

⑥ 名 諸戸氏庭園〔H14.12.19指定〕

事業者 公益財団法人 諸戸財団
事業費 34,730千円〔国50% 17,365千円・県10% 3,473千円〕
事業概要 諸戸氏庭園は、江戸初期に造営された山田氏林泉をもとに、明治初期に諸戸氏により増改築され、大正年間に現在の形となった庭園であるが、庭園を構成する施設群の毀損や劣化があるため、調査を行って修理内容の検討を行ったうえで修復、整備工事を進める。平成25年度は、溝渠護岸について修復工事の実施設計及び写真測量や溝渠護岸試掘調査を行った上で、一部修復工事を行った。また、藤茶屋中門の保存修理工事や、庭園の空間性を取り戻すための修復剪定を実施した。

指導委員 尼崎 博正 (京都造形芸術大学教授)
伊藤 茂一 (桑名市教育委員会教育長)
菅 原 洋一 (三重大学教授)
平澤 毅 (奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室長)
麓 和善 (名古屋工業大学大学院教授)
花里 利一 (三重大学教授)

指導委員会 平成25年7月30日、平成25年10月31日、平成26年3月6日

(12) 史跡等買上事業

① 史 齋宮跡 (直接買上) [S54. 3. 27 指定]

事業 者 明和町

事業 費 152,670 千円 [国 80% 122,136 千円・県 15% 22,900 千円]

事業 概要 史跡齋宮跡の公有化(昭和54年度～継続)。平成25年度は5,930.17㎡(21筆)を
買い上げた。

② 史 伊賀国庁跡 (直接買上) [H21. 7. 23 指定]

事業 者 伊賀市

事業 費 11,700 千円 [国 80% 9,840 千円・県 7% 861 千円]

事業 概要 史跡伊賀国庁跡の公有化(平成22年度～継続)。平成25年度は2,782㎡(2筆)を
買い上げた。また、境界杭の設置を行った。

③ 史 久留倍官衙遺跡 (先行取得償還) [H18. 7. 28 指定]

事業 者 四日市市

事業 費 27,720 千円 [国 80% 22,176 千円・県 7% 1,940 千円]

事業 概要 平成22年度先行取得(18,303.26㎡)による公有化にかかる起債の償還。(平成22
～32年度)

④ 史 齋宮跡 (先行取得償還) [S54. 3. 27 指定]

事業 者 明和町

事業 費 53,796 千円 [国 80% 43,036 千円・県 15% 8,068 千円]

事業 概要 平成14年度(12,704㎡)、19年度(5,743㎡)および21年度(7,775㎡)先行取得
による公有化にかかる起債の償還。

(13) 史跡等総合活用支援推進事業

史 久留倍官衙遺跡 [H18. 7. 28 指定]

事業 者 四日市市

事業 費 32,570 千円 [国 50% 16,285 千円・県 7.7% 2,524 千円]

事業 概要 久留倍官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡公園として整備する。平成25年度
は「久留倍官衙遺跡保存整備基本設計書」にしたがって、八脚門復元にかかる基
本設計、ガイダンス施設の実施設計、造成などの基盤整備工事等を実施した。

検討委員 山中 章 (三重大学特任教授)
黒崎 直 (富山大学名誉教授)
岡田 登 (皇學館大学教授)
箱崎 和久 (奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長)
伊藤 久嗣 (四日市市文化財保護審議会委員)
中川 ゆかり (羽衣国際大学教授)
中森 ゆき子 (四日市市文化振興に関する市民会議委員)
古市 立美 (久留倍遺跡運営委員会会長)

検討委員会 平成25年8月27日、平成26年2月5日

(14) 埋蔵文化財発掘調査等事業

① 市内遺跡 (四日市市)

事業 者 四日市市

事業費 3,440千円 [国50% 1,720千円・県11% 378千円]

事業概要 北山A遺跡での個人住宅建設に伴う発掘調査(本調査)を実施し、記録保存をおこなった。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
北山A遺跡	四日市市北山町	個人住宅建設	130	古墳時代後期から奈良時代の掘立柱建物・土坑・ピットを検出。土師器・須恵器が出土。

② 市内遺跡(鈴鹿市)

事業者 鈴鹿市

事業費 6,000千円 [国50% 3,000千円・県11% 660千円]

事業概要 国指定史跡の伊勢国府跡(長者屋敷遺跡)の計画調査を実施し、国府跡の範囲確認やその全体構造を明らかにするための発掘調査をおこなった。あわせて市内重要遺跡の発掘調査(確認調査・本調査)を実施した。このほか、『伊勢国府跡16』、『磐城山遺跡(第4・5次)発掘調査報告書』を刊行した。

i) 伊勢国府跡発掘調査

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m ²	調査概要
長者屋敷遺跡(第31次)	鈴鹿市広瀬町字丸内	学術調査	H26.1.22～ H26.3.13	140	丸内南西地区の方格地割北辺の確認を目的とした発掘調査を実施。ピットを検出。北限を示す大溝は確認できなかった。
長者屋敷遺跡(第32次)	鈴鹿市広瀬町字丸内	学術調査	H26.3.15～ H26.3.31	63	丸内南西地区の方格地割西辺の確認を目的とした発掘調査を実施。方格地割に伴う溝は確認できなかった。

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
 川越 俊一 (奈良文化財研究所名誉研究員)
 伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
 金田 章裕 (人間文化研究機構機構長)
 渡辺 寛 (皇學館大学名誉教授)
 和田 勝彦 (文化財虫害研究所常務理事)

指導委員会 平成26年2月27日

ii) 市内遺跡確認調査

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
三宅神社西遺跡	鈴鹿市国府町字貝下	個人住宅建設	10	遺構なし、遺物あり
稲生道遺跡	鈴鹿市末広東	集合住宅建設	15	遺構なし、遺物なし
平田遺跡	鈴鹿市弓削一丁目	個人住宅建設	4	遺構なし、遺物なし
河田宮ノ北遺跡	鈴鹿市河田町字前田	個人住宅建設	5	遺構なし、遺物なし

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
平野遺跡	鈴鹿市平野町字花林	個人住宅建設	4	遺構あり、遺物なし
西川西遺跡	鈴鹿市郡山町字土穴	個人住宅建設	11	遺構なし、遺物なし
岡太神社遺跡	鈴鹿市岡田一丁目	個人住宅建設	10	遺構あり、遺物なし
萱町遺跡	鈴鹿市須賀三丁目	個人住宅建設	2	遺構なし、遺物なし
三宅神社遺跡	鈴鹿市国府町字貝下	個人住宅建設	15.2	遺構あり、遺物あり
狐穴遺跡	鈴鹿市西条三丁目	個人住宅建設	5	遺構なし、遺物なし
平田遺跡	鈴鹿市弓削一丁目	個人住宅建設	5.5	遺構あり、遺物なし
狐穴遺跡	鈴鹿市西条三丁目	集合住宅建設	22.5	遺構あり、遺物なし
西川西遺跡	鈴鹿市郡山町字土穴	個人住宅建設	6	遺構なし、遺物なし
一反通遺跡	鈴鹿市上野町字老反通	個人住宅建設	6	遺構なし、遺物なし
須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅建設	5	遺構なし、遺物なし
烏戸池遺跡	鈴鹿市郡山町字西高山	宅地造成	34.4	遺構なし、遺物なし
陶古山遺跡	鈴鹿市石薬師町 字陶古山	個人住宅建設	4	遺構なし、遺物なし
染野遺跡	鈴鹿市中瀬古町字染野	個人住宅建設	9	遺構あり、遺物あり
土師南方遺跡	鈴鹿市若松西三丁目	個人住宅建設	3	遺構なし、遺物あり
山ノ原遺跡	鈴鹿市上田町字海戸田	個人住宅建設	6	遺構なし、遺物なし
十宮古里遺跡	鈴鹿市神戸七丁目	個人住宅建設	8	遺構なし、遺物あり
長畑遺跡	鈴鹿市御菌町	個人住宅建設	7	遺構あり、遺物あり
神大寺遺跡	鈴鹿市南堀江一丁目	個人住宅建設	9	遺構なし、遺物なし
西川遺跡	鈴鹿市郡山町字野口	個人住宅建設	7	遺構なし、遺物なし
国分東遺跡	鈴鹿市国分町字孫作	個人住宅建設	7.2	遺構なし、遺物なし
河田宮ノ北遺跡	鈴鹿市河田町字小山	個人住宅建設	7	遺構なし、遺物あり
山ノ原遺跡	鈴鹿市上田町字赤土	個人住宅建設	8	遺構なし、遺物なし
計			235.8	

iii) 市内遺跡本調査

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
磐城山遺跡 (6次)	鈴鹿市木田町	農地改良	326	弥生時代と古墳時代の堅穴住居23棟以上、中世の土坑墓や掘立柱建物を検出。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
平野遺跡 (第5次)	鈴鹿市平野町字花林	個人住宅建設	24	奈良～平安時代の土坑2基やピット37基を検出。
狐塚遺跡(国分寺跡39次)	鈴鹿市国分町字人足道	個人住宅建設	128	掘立柱建物2棟、中世の地割溝を検出。
三宅神社遺跡 (6次)	鈴鹿市国府町字貝下	個人住宅建設	119	掘立柱建物2棟、溝2条、土坑を検出。
平田遺跡 (25次)	鈴鹿市弓削一丁目	個人住宅建設	4	土坑、柱穴を検出。
石丸野1号墳	鈴鹿市広瀬町字石丸	学術調査	80	前方後円墳と推定される後円部の調査。主体部・周溝・葺石を検出。
計			681	

③ 史 市内遺跡(亀山市)

事 業 者 亀山市

事 業 費 6,417千円〔国50% 3,208千円・県11% 705千円〕

事 業 概 要 前年度に引き続き、鈴鹿関跡の範囲や性格を明確にするための発掘調査と現地地形測量を実施した。また、正法寺山荘跡の現地地形測量をおこなった。このほか、市内重要遺跡の発掘調査(試掘・確認調査)を実施した。

i) 鈴鹿関跡

鈴鹿関跡の西城壁築地の南限を確認するため、鈴鹿川畔の微高地帯において発掘調査を実施した。地表面で認められた微隆起地形は自然地形であることが判明し、築地痕跡等の鈴鹿関跡に伴う遺構・遺物は確認できなかった。西城壁は鈴鹿川畔まで延伸しない可能性が高い。また、鈴鹿関跡の国史跡指定のためのデータ収集を目的として、西城築地周辺の現地地形測量を平成18年度から継続しているが、今年度は6,000m²の測量をおこなった。

ii) 正法寺山荘跡現地地形測量

従前の縄張り調査によって史跡指定範囲外に遺構の存在が確認されているため、将来的に国史跡追加指定を目的とした4,200m²の現地地形測量を実施した。

iii) 市内遺跡試掘・確認調査

市内に存在する遺跡について開発行為を円滑に対処するため、試掘・確認調査を実施した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
鈴鹿関跡	亀山市関町新所	個人住宅建設	5.00	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎字末藤	個人住宅建設	21.60	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎	個人住宅建設	8.25	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎	個人住宅建設	5.00	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町中町	個人住宅建設	1.44	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎 字御茶屋	個人住宅建設	3.00	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町新所 字西町北	個人住宅建設	36.00	遺構なし、遺物なし

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎字町南	個人住宅建設	22.70	遺構なし、遺物なし
鈴鹿関跡	亀山市関町新所	個人住宅建設	1.12	遺構なし、遺物なし
長者屋敷遺跡 (伊勢国府跡)	亀山市能褒野町	農業関係	178.00	溝・土坑・ピットを検出。
計			282.11	

④ 市内遺跡 (津市)

事 業 者 津市

事 業 費 8,864千円 [国 50% 4,432千円・県 11% 990千円]

事 業 概 要 平成23年度に追加指定され、平成24年度に土地の買上げをおこなった史跡多気北畠氏城館跡の一部において、多気北畠氏遺跡(北畠氏館跡)中段の構造解明に向けた発掘調査等を実施した。また、市内重要遺跡の発掘調査(確認調査)をおこない、平成24年度実施分の発掘調査報告を刊行した。このほか、前年度に引き続いて出土遺物保存処理を実施した。

i) 多気北畠氏遺跡発掘調査

北畠氏城館跡中段部分の構造解明を目的とした多気北畠氏遺跡第36次(北畠氏城館跡第14次)発掘調査を実施した。従前の上段部分の調査で確認された石垣と方位を揃えた石列が検出され、石列の上部は壊されたのち埋め立てられた状況を確認した。中段部分は区画施設が一定期間存在しつつも、後に石垣上部が壊されて平坦面を拡張するための造成が認められた。今回は中段部分での初めての発掘調査であり、北畠氏城館跡の構造と土地利用の変遷を検討するうえでも重要な成果を得た。

指 導 委 員 稲本 紀昭 (元京都女子大学教授)

金田 章裕 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長)

服部 英雄 (九州大学大学院教授)

藤澤 良祐 (愛知学院大学教授)

増 淵 徹 (京都橘大学教授)

山 中 章 (三重大学特任教授)

渡 辺 寛 (皇學館大学名誉教授)

指 導 委 員 会 平成25年 6月21日、11月22日

ii) 市内遺跡確認調査

市内に存在する遺跡について確認調査をおこなった。また、『平成24年度市内遺跡試掘・確認調査報告』を作成した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
四ツ野C遺跡	津市高茶屋小森町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
一身田寺内町遺跡	津市一身田町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
高茶屋大垣内遺跡	津市城山一丁目	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物あり
四ツ野C遺跡	津市高茶屋小森町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
西ノ手遺跡	津市美杉町奥津	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
川原垣内遺跡	津市香良洲町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
久居陣屋跡	津市久居西鷹跡町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
岡副遺跡	津市安濃町川西	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
戸木遺跡	津市戸木町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
久居城下町遺跡	津市久居西鷹跡町	個人住宅建設	16	遺構なし、遺物なし
計			160	

iii) 出土遺物保存処理

多気北畠氏遺跡出土の金属製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施して恒久保存を図る。平成25年度は金箔装銅製品・刀子・小札・鋌・鋌前・銭貨など37点の保存処理をおこなった。

⑤ 市内遺跡（松阪市）

事業者 松阪市

事業費 3,300千円〔国50% 1,650千円・県11% 363千円〕

事業概要 市内重要遺跡の確認調査を実施し、埋蔵文化財保護の基礎データを得た。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
野田遺跡	松阪市嬉野野田町字小杉	宅地造成	5.40	遺構なし、中世土器
大河内城跡	松阪市大河内町	法面改修及び鐘楼建築	1.58	遺構なし、近現代瓦
黒田遺跡	松阪市嬉野黒田町字北沖	宅地造成	4.50	遺構なし、中世土師器・陶器
野田遺跡	松阪市嬉野野田町字小杉	宅地造成	4.00	遺構なし、中世土師器
脇田遺跡	松阪市大宮田町字脇田	砂利採取	33.50	井戸、古代～中世土師器
星合里中遺跡	松阪市星合町字里中	宅地造成	8.00	遺構なし、中世土師器
古川遺跡	松阪市稲木町字上久保	砂利採取	80.00	土坑、土師器
伊勢寺遺跡	松阪市深長町	病院建設	24.00	遺構なし、中世土器
坊海道遺跡	松阪市大塚町字山神戸	宅地造成	14.00	遺構なし、中世土器
上ノ庄宮ノ腰遺跡	松阪市上ノ庄町	消防車庫建設	48.00	土坑・ピット、土師器・須恵器
天花寺遺跡 清水谷遺跡	松阪市天花寺町字清水谷	工場用地造成	538.00	溝・土坑・古墳周溝、須恵器・埴輪・中世土器・陶磁器・金属製品
松坂城下町遺跡	松阪市殿町	観光交流拠点施設建設	35.00	溝・土坑、土師質土器・陶器・磁器

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
一越5号墳	松阪市伊勢寺町字一越	土砂採取	30.00	横穴式石室、須恵器・中世土器
井之尻・長井遺跡	松阪市市場庄町字真菰	店舗建設	8.00	遺構なし、遺物なし
井之尻・長井遺跡	松阪市市場庄町字真菰	店舗建設	8.00	遺構なし、遺物なし
天花寺遺跡 清水谷遺跡	松阪市天花寺町 字清水谷	工場用地造成	27.00	溝・ピット、縄文土器・弥生土器・土師器・陶器
計			868.98	

⑥ 史 町内遺跡（明和町）

事 業 者 明和町

事 業 費 2,035千円〔国50% 1,000千円・県11% 220千円〕

事 業 概 要 遺跡地内における個人住宅等の申請に対応し、事前に遺跡の規模、内容等について発掘調査（試掘・確認調査、本調査）を実施した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
史跡斎宮跡 第179-4次調査	明和町斎宮字中西	浄化槽新設	2.3	遺構なし、遺物なし
史跡斎宮跡 第179-5次調査	明和町斎宮字東前沖	個人住宅建設	72.0	竪穴建物・溝・土坑・ピット（掘立柱建物）、土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・青磁
史跡斎宮跡 第179-6次調査	明和町竹川字中垣内	確認調査	154.0	竪穴建物・掘立柱塀・溝・土坑・ピット、土師器・須恵器・陶磁器
史跡斎宮跡 第179-8次調査	明和町斎宮字古里	個人住宅建設	26.8	溝・土坑・柱穴、土師器・須恵器・山茶碗
史跡斎宮跡 第179-9次調査	明和町斎宮字牛葉	浄化槽改修	3.6	ピット、土師器・須恵器
史跡斎宮跡 第179-10次調査	明和町竹川字東裏	浄化槽新設	2.0	溝、土師器・陶磁器
史跡斎宮跡 第179-13次調査	明和町斎宮字笛川	個人住宅建設	3.6	土坑、土師器
史跡斎宮跡 第179-14次調査	明和町竹川字古里	太陽光発電施設建設	95.0	溝・土坑・柱穴、土師器・灰釉陶器
斎宮北野D遺跡	明和町斎宮字北野	宅地造成	112.0	溝・土坑・ピット、土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・製塩土器・鉄釘
金剛坂遺跡	明和町金剛坂字辰ノ口	宅地造成	39.0	溝（古墳周溝か）、土師器
坂本古墳群	明和町坂本字西垣内	宅地造成	96.0	溝・土坑・ピット、土師器

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
織糸遺跡隣接地	明和町上村字城堀	宅地造成	108.0	遺構なし、遺物なし
水池遺跡 黒土遺跡	明和町明星字黒土、 水池、桜出	宅地造成	205.0	竪穴建物・土器焼成坑・ 土坑・ピット、土師器・ 須恵器
計			919.3	

⑦ 市内遺跡（志摩市）

事業者 志摩市

事業費 2,500千円〔国50% 1,250千円・県11% 275千円〕

事業概要 志島古墳群4号墳について、海蝕による自然崩落の前に記録保存を目的とした発掘調査(本調査)を前年度に引き続き実施した。今年度は横穴式石室(前庭部+羨道・玄室)の調査をおこない、閉塞石・礫床等の検出や各種の金属製品を中心とした多数の副葬品が出土した。このほか、墳丘盛土内から剣の可能性のある鉄製品や古墳築造以前の土器埋置を確認した。石室構造をはじめとする古墳築造過程、古墳築造以前の土地利用、古墳時代以降の石室利用等が判明するなど、数多くの重要な成果を得た。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
志島古墳群4号墳 (塚穴古墳)	志摩市阿児町志島	確認調査	36.38	横穴式石室墳 土器(土師器・須恵器・ 灰釉陶器・山茶碗・陶磁 器等)、 鉄製品(剣・刀・鏃等)、 銅製品(椀・鈴等)、 金銅製品(鈴・耳環・双 脚飾鋌等)、玉、骨
計			36.38	

(15) 天然記念物食害対策事業

特天 カモシカ〔S9.5.1指定(地域を定めず)〕

事業者 大台町・紀北町・尾鷲市

事業費 25,468千円〔国2/3 16,978千円・県11% 3,206千円〕

事業概要 カモシカ保護地域が設定されている市町での食害対策用保護柵の設置。

市町名	事業費 千円	箇所数	面積 ha	柵総延長 m	受託者
大台町	14,952	5	5.51	2,688	宮川森林組合
紀北町	5,035	2	4.74	2,500	森林組合おわせ
尾鷲市	5,481	2	5.64	2,123	森林組合おわせ
計	24,468	9	15.89	7,311	

(16) 天然記念物緊急調査事業

① 天 ネコギギ〔S52.7.2指定（地域を定めず）〕

事業者 亀山市
事業費 2,000千円〔国50% 1,000千円・県7% 140千円〕
事業概要 絶滅が危惧される鈴鹿川水系のネコギギ個体群の生息状況把握を行い、保護のための計画を立案した。平成25年度は鈴鹿川水系のネコギギを現状把握するため、生息状況調査と生息環境調査を行った。
指導委員 名越 誠（奈良女子大学名誉教授）
原田 泰志（三重大学教授）
渡辺 勝敏（京都大学大学院准教授）
川北 要始補（亀山市文化財保護審議会委員）
指導委員会 平成26年2月27日

② 特天 オオサンショウウオ〔S26.6.9指定（地域を定めず）〕

事業者 名張市
事業費 2,022千円〔国50% 1,011千円・県7% 141千円〕
事業概要 赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査とDNAサンプリング調査を行った。
指導委員 松井 正文（京都大学大学院教授）
清水 善吉（三重県文化財保護指導委員）
栃本 武良（日本ハンザキ研究所長）
富田 靖男（元三重県立博物館長）
江川 紫（日本サンショウウオセンター職員）
指導委員会 平成25年12月15日、平成26年2月24日、3月28日

③ 天 多度のイヌナシ自生地〔H22.8.5指定〕

事業者 桑名市
事業費 4,010千円〔国50% 2,005千円・県7% 280千円〕
事業概要 イヌナシ自生地の航空レーザー測量と、イヌナシ自生地の現況に関する総合調査を実施した。
指導委員 葛山 博次（三重県生物多様性保全アドバイザー）
川添 護（桑名市文化財保護審議会委員）
向井 譲（岐阜大学応用生物科学部教授）
水谷 雅恒（特定非営利活動法人 多度自然育成の会）
加納 昭夫（イヌナシ自生地地権者）
指導委員会 平成26年2月12日

(17) 天然記念物再生事業

① 天 ネコギギ〔S52.7.2指定（地域を定めず）〕

事業者 いなべ市
事業費 2,900千円〔国50% 1,450千円・県7% 203千円〕
事業概要 絶滅の危機に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギの生息状況調査ならびに保護増殖を行う。平成25年度は野外に残存しているネコギギの継続調査および周辺の生息環境調査、志摩マリンランドでの保護増殖、鳥羽水族館での危険分散目的の飼育を行った。

指導委員 森 誠一 (岐阜経済大学教授)
渡辺 勝敏 (京都大学大学院准教授)
原田 泰志 (三重大学教授)
田代 喬 (名古屋大学大学院准教授)
佐川 志朗 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授)
里中 知之 (志摩マリンランド館長)

指導委員会 平成25年7月11日、12月12日、平成26年3月5日

② 天 御池沼沢植物群落〔S27.10.11指定〕

事業者 四日市市
事業費 4,200千円〔国50% 2,100千円・県7% 294千円〕
事業概要 天然記念物 御池沼沢植物群落の再生を目的として行う事業である。事業は、市文化財保護審議会天然記念物部会を指導委員会として位置づけ、助言・指導を受けながら実施する。平成25年度は、植生調査、環境調査に加えて、湿地植物に影響を与える可能性のある樹木や竹林の伐採、説明板の補修や移設を行った。

指導委員 石田 昇三 (学識経験者)
武田 明正 (三重大学名誉教授)
桐生 定巳 (学識経験者)
加田 勝敏 (学識経験者)

指導委員会 平成25年8月6日

2 県費単独補助事業

(1) 美術工芸品保存修理

① 蓮如・如光上人連坐像〔H21.3.11指定〕

事業者 本宗寺
事業費 3,466千円〔県1/2 1,733千円〕
事業概要 本紙の随所に見られた亀裂、擦れ、横折れ、絵の具の剥離を中心に修理を行った。また、表装や保存箱についても新調した。

修理委託 株式会社 岡墨光堂

② 磨崖聖観音立像 附 紙本淡彩聖観音立像〔S31.5.2指定〕

事業者 宗教法人 浄蓮寺
事業費 819千円〔県1/2 409千円〕
事業概要 附の紙本淡彩聖観音立像について、傷みが著しいことから、解装し、汚れ・シミの除去を実施した。保存のため、本紙と裏打を別々に裏打ちし、軸装した。2幅を入れるための保存箱を新調した。

修理委託 株式会社 ナカシャクリエィティブ

(2) 史跡等買上げ

坂本古墳群〔H16.1.19指定、H24.3.19一部追加指定〕

事業者 明和町
事業費 62,125千円〔県35% 21,743千円〕
事業概要 史跡坂本古墳群の公有化を行う。史跡地西側の宅地部分の578.37㎡(5筆)の買上げと、建物補償を行った。

(3) 天然記念物再生

長太の大楠〔S38.1.11指定〕

- 事業者 宗教法人 須伎神社
事業費 613千円〔県1/2 306千円〕
事業概要 樹勢の回復を目的に、土壌改良と枯損枝の切除を行った。

(4) 史跡整備

鳥羽城跡〔S40.12.9指定〕

- 事業者 鳥羽市
事業費 6,135千円〔県35% 2,147千円〕
事業概要 史跡鳥羽城跡の家老屋敷跡に存在する土塀の漆喰崩落等が進んでいるため、壁体修理や瓦の葺き替えを行った。また、土塀の保存を図るため、土塀に近接して存在している樹木の伐採やフェンスの撤去を行った。

(5) 民俗文化財

オンナイ念仏会〔S50.3.27指定〕

- 事業者 三日市おんない念仏会保存会
事業費 451千円〔県1/2 225千円〕
事業概要 行事の主要な道具である大小2本ずつの傘が破損したため、解体修理を行った。

3 活かそう守ろうみえの文化財事業

(1) 事業概要

【事業の趣旨・目的】

みえの貴重な地域資源である文化財について、所有者（管理者）等からの活用計画や市町による文化財を活かしたまちづくりマスタープランの策定計画を受け、当該文化財の修復整備と公開活用を進める。

また、文化財の活用取組を促進することにより、ひとづくりやまちづくりへとつなげる。

さらに文化財の活用取組を通じて、所有者や地域住民の文化財に対する愛着と誇りを育むことにより、文化財を守ろうとする意識を向上させる。

i) 事業費（活用事業、保存事業）

843,698千円（県費支出額 101,876千円：活用事業 1,676千円、保存事業 100,200千円）

ii) 対象

国・県指定等文化財の所有者（管理者）など

iii) 内容

- ・魅力ある活用事業を計画的に進めようとする国・県指定等文化財について、所有者等による文化財の修復等保存事業と、公開等活用事業に対して補助を行う。
- ・学校や地域等との連携、周辺文化財とあわせた取組など、魅力ある活用事業を促進する。
- ・文化財の魅力を県民にさらに伝えるとともに、活用取組についても情報発信を充実させる。

iv) 実施方法

- ・国・県指定等文化財の所有者（管理者）等は、当該文化財の保存と活用について事業計画を作成し提出する。
- ・提出された計画のうち、当該文化財の本質に合った魅力ある活用であり、文化財の価値を県民に伝え、人づくりやまちづくりへとつながるものについて採択をする。

- ・採択した計画にかかる保存事業(修復等)に補助をするとともに、活用事業についても補助を行う。

(2) 事業実績

① 事業件数

提案件数	採択件数	提案者数	マスター プラン	活 用 事業者数	保 存 事業者数
33	33	20 (12市1町)	0	27	20

② 活用事業一覧

[千円]

事業者	事業名	事業額	県補助額	内 容
公益財団法人 諸戸財団	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理	200	100	修復工事の進め方や、修理を通して分かってきた明治の職人の技について知り、文化財がなぜ大切なのか一般の方に伝える為に修理工事(広間)の現地見学会を開催した。
公益財団法人 諸戸財団	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録 記念物・歴史の道保存整備	206	103	文化財としての価値を損なわないようにどのような修理を実施するのか一般の方に知ってもらう為に護岸石積み修理の現地見学会を開催した。
桑名石取祭保 存会 (桑名市)	重無民 桑名石取祭の祭車行事 の祭車修理事業 民俗文化財伝 承・活用等事業	200	100	「桑名まつりフェスティバル」の際に一般の方に祭車を間近で見られる様、現物展示をおこなった。 鉦や太鼓の演奏体験をおこなった。
NPO多度育 成の会 (桑名市)	天 多度のイヌナシ自生地 天 然記念物緊急調査	100	50	「多度のイヌナシ自生地」観察会を開催した。 多度のイヌナシマップを作成した。
十社小学校親 師会 (いなべ市)	天 ネコギギ 天然記念物再生	100	50	児童と保護者・教員を対象に田切川についての観察会や学習会を開催し、川に親しみ、身近に生息する天然記念物ネコギギを中心に希少生物や環境について学んだ。
久留倍遺跡運 営委員会 (四日市市)	史 久留倍官衙遺跡 史跡等総 合活用支援推進事業 (史跡等)	245	122	平成24年度に実施した写真コンテストに応募された作品を利用して「散策マップ」を作成した。 「散策マップ」を利用したスタンプラリーを開催した。
四日市市	史 久留倍官衙遺跡 史跡等買 上げ (先行取得償還)	51	25	久留倍官衙遺跡学習講座(全4回)を開催した。 久留倍官衙遺跡出土品展を開催した。

事業者	事業名	事業額	県補助額	内容
四日市市	市内遺跡 発掘調査等	30	15	北山A遺跡発掘調査報告会・展示会を開催した。
NPO東海道 関宿 (亀山市)	重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理	110	55	「関宿かるた」看板(6枚)を追加設置し、関宿における散策ネットワークの整備を進めた。 「関宿かるた」を活用したウォークラリーを開催した。 「関宿かるた」公式ガイドブック制作の検討を行う為「関宿かるた」大会を開催した。
ふるさと文化 資産保全活用 研究会 (亀山市)	登録 白川小学校南棟及び北棟文化財建造物等活用地域活性化事業(登録有形文化財)	90	45	文化財建造物の耐震化の意義及び工事内容についての理解を深めると共に、工事完了後の円滑な公開活用を図るため、工事現場公開・公開講座を実施した。
亀山市	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査	30	15	文化財講座「天然記念物調査講演会・報告会」を開催した。
亀山市	史 市内遺跡 発掘調査等	80	40	文化財講座「鈴鹿関跡範囲確認調査報告会」を開催した。
鈴鹿市考古博物館サポート会	史 伊勢国分寺跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	20	10	講演会「文化財を活かした町づくり 一 国史跡齋宮跡の調査・整備・活用について」を開催した。 親子を対象とした「万灯手作り教室」を開催した。
南長太町第一自治会 (鈴鹿市)	長太の大楠 天然記念物再生	20	10	地元小学生(4年生)を対象に樹木医等が大楠の大切さや魅力、保護活動についての講話をおこなった。 灌漑作業、除草作業、藁敷き作業を実施した
三日市おんない念仏会保存会 (鈴鹿市)	オンナイ念仏会 傘修理	20	10	小学生(保護者)に対して文化財への理解と保存伝承への啓発を図る為、地域の歴史や特色、オンナイ念仏会について、如来寺住職、地元住民を講師に講話をして頂いた。 小学生(保護者)を対象に傘の飾りつけ体験を保存会の指導の下で実施した。
鈴鹿市	市内遺跡 発掘調査等	40	20	埋蔵文化財に対する理解を深め、地域の歴史や文化について身近に感じられるように、磐城山遺跡(第6次)の発掘調査体験を実施した。
宗教法人北畠神社 (津市)	市内遺跡 発掘調査等	27	13	歴史講演会「伊勢国司北畠氏の城館を探る」を開催した。 名勝北畠氏城館庭園、霧山城跡等の現地見学会を開催した。

事業者	事業名	事業額	県補助額	内容
宗教法人 浄蓮寺 (津市)	磨崖聖観音立像 附 紙本淡彩 聖観音立像 美術工芸品保存修理	24	12	地域住民、檀家、信徒等を対象に紙本淡彩聖観音立像を公開した。探訪ツアーに合わせて紙本淡彩聖観音立像を一般公開した。紙本淡彩聖観音立像及び覚順和尚ゆかりの史跡案内パンフレットを作成した。
松阪市	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理	16	8	蝦夷屏風について、修理中の様子や文化財修理の困難さを知ってもらう為に、公開講座「世にも稀なる蝦夷屏風」「蝦夷屏風の保存修理」を開催した。
松阪市	市内遺跡 発掘調査等	50	25	小中学生を対象とした文化財パンフレットを作成し、博物館「はにわ館」にて開催する各種展示で配布した。
公益財団法人 国史跡齋宮跡 保存協会 (明和町)	史 齋宮跡 史跡等買上げ (直接買上げ)	300	150	史跡、植栽に興味のある方を「植栽サポーター」として一般募集し、地域住民と共に、齋宮跡歴史ロマン広場の一面にシバザクラの花壇を設置した。
明和町	史 齋宮跡 史跡等買上げ (先行取得償還)	25	12	ガイドボランティア団体が主体となり「史跡内森林樹木等調査」を実施し、樹木名や分布を調査した。その結果、判明した樹木(42本)に樹木札を設置した。
明和町	町内遺跡 発掘調査等	30	15	地元小学生(4年生)の総合学習の一環として、実際に放置されている竹林において、指導者監修のもと、不良竹、老竹の伐採や、混成した雑木の整備を行った。
明和町	坂本古墳群 史跡等買上げ	70	35	解説シート 1(坂本古墳群)、2(発掘調査でわかった坂本古墳群)、3(坂本1号墳出土の金銅装頭椎太刀)を作成した。町立歴史民俗資料館において「特別展 よみがえる坂本古墳群」を開催した。
伊勢市	史 旧豊宮崎文庫 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	10	5	門と土塀の修理工事が完了した姿を公開し、市民に国史跡旧豊宮崎文庫を身近に感じてもらう為に史跡見学会を開催した。
鳥羽ロータリー クラブ	鳥羽城跡 土塀修理	446	200 (上限額)	鳥羽 歴史と文化のシンポジウム(第1部 記念講演「蘇る鳥羽城天守閣」 第2部 パネル・ディスカッション)を開催した。
鳥羽市	市内遺跡 発掘調査等	233	116	講演会「鳥羽城を探る一海に向けた水軍の城」を開催した。

事業者	事業名	事業額	県補助額	内容
志摩市	市内遺跡 発掘調査等	100	50	志島古墳群(おじよか古墳)出土遺物についてパンフレットを作成し、配布した。 地元小学生(6年生)を対象に志島古墳群を現地見学する授業をおこなった。 志島古墳群4号墳の発掘調査に合わせて現地説明会を開催した。
児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設等開放事業実行委員会(伊賀市)	史 上野城跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	176	88	子ども文化財教室を開催した。 (上野城下町を保護者と一緒に散策し文化財や上野城下町の歴史を学ぶ) ふるさと学習スタンプラリーのを開催した (伊賀市在住の小学生児童全員に「無料手形」を配布して市内20ヶ所の文化財施設に1回無料で入場できるようにした。)
府中地区住民自治協議会(伊賀市)	史 伊賀国庁跡 史跡等買上げ(直接買上げ)	40	20	文化財講座「考古資料における紋様の意味」を開催した。 文化財ウォーク「古墳と中世城館をめぐる」を開催した。 文化財講演会「国史跡久留倍官衙遺跡の調査と整備」「伊賀国庁跡の調査と保存整備」を開催した。
上野文化美術保存会(伊賀市)	重無民 上野天神祭のダンジリ行事のダンジリ修理事業 民俗文化財伝承・活用等事業	84	42	小学生に上野天神祭について理解を深めてもらう為、お囃子体験会(太鼓、摺り鉦、竜笛)を開催した。 「上野小玉町楼車見送幕復元新調完成記念講演会」を開催し、来場者に原幕と新調した復元幕を見てもらい、文化財保護の必要性や無形民俗文化財保護の方法等について理解を深めてもらった。
伊賀市	史 旧崇広堂 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	25	12	旧藩校という教育・学びの場を利活用し、史跡の価値を広く知る機会として、旧崇広堂(講堂)で「書道教室」を開催し、「旧崇広堂書道展」として展示をおこなった。
NPO赤目四十八滝溪谷保勝会(名張市)	名 赤目の峡谷 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	207	103	滝のいきものパンフレットを作成し、配布した。 滝のいきもの講座・散策会を開催した。 キャンドルナイトを開催した。
合計	33件	3,405	1,676	

4 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町（教育委員会）の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

(1) 地域の伝統文化助成（公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団）

事業者	東玉垣唐人踊り保存会
助成額	200千円
事業概要	衣装・笛の新調

(2) 文化財保存修復助成事業（公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団）

事業者	本宗寺
助成額	200千円
事業概要	蓮如・如光上人連坐像の保存修理

IV 世界遺産の保存管理

1 世界遺産熊野古道保存管理事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(平成16.7.7登録)の良好な保全管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った(総事業費;560千円)。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』(以下、三県協議会という)は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。三県協議会は、会長・副会長・委員及び監事で組織されている。事務局は和歌山県(商工観光労働部観光振興課)に置かれた。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

- ・副会長 鈴木 英敬(三重県知事)
- ・委員 山口千代己(三重県教育委員会教育長)、河上 敢二(熊野市長)、安部 正美(紀北町教育委員会教育長)
- ・監事 野村 浩(三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長)

② 三県協議会連絡会議の開催

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン(大阪府大阪市天王寺区)
 開催日時 平成25年8月9日(金) 14:00~15:30
 議事内容 平成24年度の事業報告・決算・監査報告、平成25年度事業計画・予算案、世界遺産の適切な活用、標識サイン整備
 事業計画 保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催運営、関係自治体担当者会議の開催、普及啓発活動(「紀伊山地の参詣道ルール」の周知)、シンボルマークの利用促進

平成24年度三県協議会決算

収入	支出	繰越金	収入のうち三重県負担額
729,715 円	703,055 円	26,660 円	220,000 円

③ 三県協議会専門委員会の開催

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン(大阪府大阪市天王寺区)
 開催日時 平成26年1月24日(金) 13:30~16:30
 議事内容 平成23年台風12号被害の復旧状況について、第2回行政担当者会議について、参詣道における適切な活用について(三県共通)
 大峯奥駈道の価値について(奈良県)
 緩衝地帯の保護対策について(三重県)
 世界遺産追加登録に向けての取り組みについて(和歌山県)

委員 小野 健吉(奈良文化財研究所文化遺産部長、日本庭園史)
 櫻井 敏雄(大谷大学客員教授、建築・意匠)
 菅谷 文則(奈良県立橿原考古学研究所長、考古学)
 高須 英樹(和歌山大学教授、植物生態学)
 西村 幸夫(東京大学副学長、都市計画)
 速水 亨(速水林業代表、森林景観)

増井 正哉 (奈良女子大学教授、建築史・文化的景観)

山陰 加春夫 (高野山大学名誉教授、日本中世史)

④ 第2回世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議の開催

開催地 世界遺産熊野本宮館、熊野参詣道中辺路、熊野本宮大社 (和歌山県田辺市)

開催日 平成25年10月9日(水)・10日(木)

概要 関係行政担当者の資質向上を目的として開催した。国機関(文化庁、環境省、林野庁)、3県及び関係市町村等の職員の参加を得た。1日目は、基調講演「世界遺産の最新状況」の他、保全と活用を中心に4講演を行い、意見交換を行った。2日目は、熊野参詣道中辺路において、維持管理実地体験として、「道普請」活動を行った。また、熊野本宮大社までの参詣道の状況と、熊野本宮大社の建物修理の状況視察を行った。

⑤ 「紀伊山地の参詣道ルール」の周知

適切な活用を促進するため、啓発用ポスターとカードの配布を行った。

⑥ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理

「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークは、三県協議会あて(各県教育委員会文化財主管課が事務)に使用届出書を提出することで、世界遺産関連行事や商品などに用いることができる。平成25年度に三重県が受理し、届出受領書を発行したのは3件である。

(2) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会

三県協議会と連携して熊野参詣道(伊勢路)の保存と活用に取り組むため、三重県教育長及び大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の教育長を委員とする「三重県世界遺産保全推進協議会」が構成されている。

また、史跡等の保護のため、本協議会の下に幹事会を設置し、文化財保護法に基づく史跡等の保護に万全を期する体制を布いている。平成25年度は幹事会を2回開催した。第1回は平成25年9月25日(水)、第2回は平成26年3月3日(月)に開催し、当該6市町教育委員会との連絡・協議を行った。

② 世界遺産「保全状態の測定にかかる指標」の作成

ユネスコ世界遺産委員会は、世界遺産一覧表に登録された遺産の価値を維持するため、世界遺産条約締結国内における世界遺産の保全状態等について定期的な報告の実施を、第22回世界遺産委員会(平成10年)において採択している。これは、世界遺産条約第29条に基づき、世界遺産を保有する国が、世界遺産条約を適用するために採った立法措置、行政措置やその他の行動に関する定期報告である。文化庁より指示のあった報告様式「保全状態の測定にかかる指標」に基づき、各関係市町村教育委員会を支援し、平成25年1月～同年12月末までの集約を行った。

③ 平成25年度世界遺産関係都道府県主管課長会議

世界遺産の保存・継承を主目的に、平成11年度から構成資産を擁する都道府県の共催で開催されている。

開催地 北海道網走市、斜里郡斜里町(世界自然遺産「知床」)

開催日 平成25年7月17・18日

情報提供 世界遺産に係る最近の動向や取組などについて
(外務省、環境省、林野庁、文化庁)

協議内容 分科会の設置について(島根県提案)

(3) 活用事業

世界遺産セミナー

熊野参詣道についての保全や活用等の活動のヒントを得ることを目的に実施しており、25年度は、他地域の取組から学ぶことを主眼に置いた。なお、セミナーの開催にあたっては、県、開催市町、東紀州地域振興公社の三者主催により実施した。

○平成26年2月16日(日)

会 場 御浜町中央公民館 参加者30名
講 師 早瀬隆人(徳島県教育委員会教育文化政策課)
演 題 「遍路道の保存と継承 一遍路道と札所寺院の調査から」

2 他部局との連携事業ほか

(1) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会

紀伊半島には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとして、豊かな歴史・文化・自然資源があり、紀伊半島の観光振興と地域活性化を図るためには、三重県、奈良県、和歌山県が広域的に連携し、これらの資源の積極的な活用で共同で取り組む必要があることから、平成22年7月に「吉野・熊野・高野の国」が建国された。事業実行委員会は、3県の観光、地域振興、文化財部局等により構成されている。

委員会においては、文化財保護の観点から、適切な活用が促進されるよう提言している。

(2) 熊野古道関係担当者会議

県庁内の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に関係する、地域連携、地域振興、文化振興、まちづくり、林業、観光等の部局との間で、適切な保全と活用が促進されるよう提言している。

V 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

目 的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

開催期日	5月21日	県津庁舎会議室	8月27日	県津庁舎会議室	
	10月15日	県尾鷲庁舎会議室	11月19日	県津庁舎会議室	
	1月21日	県津庁舎会議室			
新規登録	刀剣類	180件	銃砲類	14件	登録件数累計 52,887件
登録証再交付	刀剣類	15件	銃砲類	2件	
製作承認	刀剣類	0件	(新規内数)		
所有者変更	刀剣類	566件	銃砲類	36件	
登録審査委員 (五十音順)	東 敏平	(日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)			
	小川 保生	(日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)			
	中西 勤	(日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)			
	早川 繁一	(日本美術刀剣保存協会 三重県支部長)			
	東世古 晃弘	(日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)			
	福井 款彦	(日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長)			

(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

目 的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を促進するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

日 時 平成25年5月26日(日)

場 所 中勢グリーンパーク(津市)

審 査 員 中谷 和生 (社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部長)

岸川 徳成 (社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部副支部長)

登録日本犬

	登録日	登録番号	犬名	性	所有者住所
1	H25.6.11	805	喜 久	雌	名 張 市
2	H25.6.11	806	伯 狼	雄	四 日 市 市
3	H25.6.11	807	白眉乃光姫	雌	鈴 鹿 市

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

目 的 天然記念物日本鶏の保存を図り、繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認めた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

日 時 平成25年6月8日(土)

場 所 斎宮歴史博物館南側駐車場(多気郡明和町竹川503番地)

審 査 員 富田 靖男 (元三重県立博物館長)

西川 祥一 (日本家禽会三重県支部長・天然記念物三重県五鶏保存会会長)

佐々木 健二 (三重県農林水産部フードイノベーション課)
西川 薫 (三重県農林水産部畜産研究所中小家畜研究課)

登録日本鶏

	登録日	登録番号	鶏種	内種	性	所有者住所
1	H25.6.19	990	小国鶏	白藤種	番	玉城町
2	H25.6.19	991	八木戸鶏		番	玉城町
3	H25.6.19	992	小国鶏	白色種	雄	玉城町
4	H25.6.19	993	河内奴鶏		番	玉城町
5	H25.6.19	994	烏骨鶏	白色種	雌	玉城町

2 文化財の管理

(1) 文化財パトロール

事業概要 県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、毎月、社会教育・文化財保護課に報告される。社会教育・文化財保護課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

保護指導委員

建 造 物	嶋村 明彦	大城 哲也	久安 典之	山田 幸三	松月 久和
	滝井 利彰	田崎 通雅	稲富 正充	岩本 直樹	大森 尚子
	岩見 勝由	蒔田 英彦	東原 達也	宮原 良雄	
彫 刻	福村 直昭	采翠 真澄	藤田 直信	瀧川 和也	
埋 蔵 文 化 財	松本 覚	渡辺 尚登	山本 達也	浅尾 悟	福村 直人
	浅生 悦生	新田 洋	西田 尚史	東 浩成	増田 安生
	村上 喜雄	縣 拓也	奥 義次	北畠 充生	寺岡 光三
	市田 進一	水口 昌也	大花 健生		
天 然 記 念 物	川添 護	桐生 定巳	西川 浩之	中 優	高松 隆吉
	清水 善吉	中野 恵子	中村みつ子	松月 茂明	山野 直也
	杉澤 学	山本 和彦	林 伸行	川岸 悟	渡辺 勝敏
	森川 裕之	川島 大助	加藤 雅之		
熊野参詣道	吉田 金好	向井 弘晏			

巡視報告 各委員による巡視活動の結果は次掲の①のとおりである。その中で特に指摘のあったものを②に示した。

① パトロール実施状況一覧

地区	市町	建造物	彫刻	絵画 文書	考古	民俗	史跡	天 然 記 念 物	埋蔵	重伝建	計
北勢	桑名市	1						6	11		18
	木曾岬町										0
	東員町	4						1			5
	いなべ市	4						2			6
	四日市市						6	3	7		16

地区	市町	建造物	彫刻	絵画 文書	考古	民俗	史跡	天 然 記念物	埋蔵	重伝建	計
北勢	菰野町						3	2	5		10
	朝日町										0
	川越町										0
	鈴鹿市	3					2	9	14		28
	亀山市	13					2	3	5	1	24
中勢	津市	1					1	8	81		91
松阪	松阪市	3					1	10	74		88
	多気町	1						2	59		62
	明和町						1	2			3
	大台町	2						4	38		44
南勢 志摩	伊勢市	8			1		1	3			13
	玉城町										0
	南伊勢町							6	26		32
	大紀町							3	24		27
	度会町	4						1	36		41
	鳥羽市	3					2	3	9		17
	志摩市	2					5	1	64		72
伊賀	伊賀市	38					8	37	1		84
	名張市	1					2	17	12		32
尾鷲	尾鷲市						1	1	3		5
	紀北町							1	3		4
熊野	熊野市	2				1	13	8	9		33
	御浜町						1	3	4		8
	紀宝町						2	1	5		8
計		90	0	0	1	1	51	137	490	1	771

② 巡視報告で指摘等があったもの

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
桑名市	美鹿の神明杉	一部先端部が枯れているが、生育には影響は見られない。	市へ連絡済み。
四日市市	西阿倉川アイナシ自生地	上部の太い枝の枯損が目立つので、上部を伐採して木全体の若返りを図った方がよい。	市へ連絡済み。
	御池沼沢植物群落	帰化植物等湿性植物以外の植物の侵入により、本来の湿性植物の生育は極めて悪い。現在、専門家による湿地の回復が図られている。	市へ連絡済み。対応中。
菰野町	奥郷の寒椿「獅子頭」	2か所で小枝が枯損している。	町へ連絡済み。
鈴鹿市	西の城戸の柵	説明版の文字が消えかかっている。葉の食害が目立つ。	市へ連絡済み。
津市	椋本の大椋	説明版の文字が変形している。枯れた幹の保存(樹脂)の意義が疑問。支柱の固定杭が傷んできている。崖下から地下水が滲み出ている。	市へ連絡済み。対応を協議中。
	柳谷の貝石山	今すぐ天井部が崩落するとは思えないが、今後何らかの安全策を施す必要がある。	市へ連絡済み。対応済み。

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
松 阪 市	月出の中央構造線	保存の方法をもう一度考えてはかがか。	市へ連絡済み。
多 気 町	四神田池東岸瓦窯跡	石鏝、石錘、剥片、須恵器、土師器、緑釉陶器片、山茶碗などを確認。未登録か。	町へ連絡済み。
	丸山口水銀採掘坑跡	新発見。東南端の山の斜面を階段状に掘削する工事が行われた。その裾部西端に開口する旧坑が土を置いて埋められているのを確認した。	町へ連絡済み。
	西村廣休宅跡のフウ樹	フウを囲む鉄製フェンスのうち、東側フェンスの中央下と南下の固定ねじが消失したままである。	町へ連絡済み。
	石神C遺跡	砂利採取によりすでに跡形もなく破壊され、荒地化している。	町へ連絡済み。
	枥ヶ池湿地植物群落	北岸のクチナシは枯れてしまった個体が多い。アサザが2か所で群落を形成しており、生育範囲は拡大している。	町へ連絡済み。
明 和 町	齋宮のハナショウブ群落	昨年は中央部にしかなかった開放水域が北側と東側に連続して拡大しており、昨年に比べ株数は増加している。湿性植物でないヨモギと新しくヤマノイモの侵入が見られた。	町へ連絡済み。
伊 勢 市	旧賓日館本館	管理が行き届いている。下屋の瓦の乱れは今のうちに直しておくといよい。基礎に亀裂が4か所ある。	市へ連絡済み。
	金剛証寺本堂附厨子	管理が行き届いているが、厨子への入口の扉が開けにくい。床に傷がついている。勾欄の架木、平桁、地覆の腐朽が目立つため修理の必要あり。内陣の梁の金箔が剥がれてきている。	市へ連絡済み。対応済み。
	寂照寺観音堂	壁面の漆喰の部分が数か所断裂	市へ連絡済み。
	伊勢河崎商人館	管理の状況非常によい。塀の頂部の瓦が破損して雨が垂れて壁面が汚れている。	市へ連絡済み。
	覆盆子洞	看板の杭が腐っている。木の階段も風化が激しく、一部しか残っていない。ロープは撤去すべきと思う。	市へ連絡済み。
	旧賓日館本館	管理が行き届いている。下屋の瓦の乱れは今のうちに直しておくといよい。基礎に亀裂が4か所ある。	市へ連絡済み。対応済み。
鳥 羽 市	庫蔵寺のコツブガヤ	特に問題なし。枝が1箇所折れていた（10月の台風によるもの）。	市へ連絡済み。
	旧鳥羽小学校	活用方法を早急に決めてください。昨年よりも腐食が進んでいるように思われる。	市へ連絡済み。
	奈佐のヤマトタチバナ 楠路脇のヤマトタチバナ	標柱はかなり傾き倒れそう。後方のイヌマキの成長により、枝が伸びず全体が細くなっていた。枝の一部が枯れていた。	市へ連絡済み。
度 会 町	浦山遺跡	新発見。宮川への張り出し部に立地する。削器、剥片多数。弥生土器片、土師器片を確認した。	町へ連絡済み。
	大西出遺跡	新発見。精査の結果、県道の両側に拡大していることが分かった。石鏝(いわゆる魚形鏝)、不定形石器、楔形石器、礫器片、剥片多数などを確認した。縄文早期前半の遺跡であることは間違いない。	町へ連絡済み。
南伊勢町	鬼ヶ城暖地性シダ群落	境界の石柱が倒れたままである。鬼ヶ城の入口の看板はそのうち腐っていくと思われる。	町へ連絡済み。
	野見坂の地層褶曲	説明看板の文字が薄くなっている。	町へ連絡済み。
志 摩 市	浄土3号墳	南辺の西で遺跡外と思われる1段高い部分はイノシシにより荒らされていた。	市へ連絡済み。

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
志摩市	宇気比神社樹叢	松が枯れていた。おそらくマツクイムシによるものと思われる。北側道路脇の木（昨年より枯れている）が台風等の強風で倒れる危険性がある。	市へ連絡済み。
伊賀市	大村神社宝殿	北面入母屋西側破風尻に鳥（ムササビ）の出入り穴あり。西側軒先裏甲に雨漏りの痕跡あり。	市へ連絡済み。
	射手神社十三重塔	二段の台石と層塔基礎部分の沈下が大きくなっている。	市へ連絡済み。
	高倉神社のシブナシガヤ	幹の枯損が進行している。竹が幹の周囲まで広範囲に生育しているため、伐採する必要がある。	市へ連絡済み。 対応を協議中。
	若山氏館跡	若山氏館跡西の背後の丘陵に関連する城郭遺構あり。	市へ連絡済み。 現地確認済み。
	中村氏宅跡	中村氏宅跡も記載の位置より東の丘陵端になる。	市へ連絡済み。 現地確認済み。
	外山城山城	外山古墳群と鷲棚古墳群を外縁とした堀切・堅堀等が確認され、綾の森の尾根筋に削平曲輪の存在がみられることから、城郭と判断し縄張り図を作成した。	市へ連絡済み。 現地確認済み。
名張市	夏見廃寺跡	保存状態は良好だったが、整備は不十分だった。展示館の老朽化が目立ってきている。	市へ連絡済み。
	美旗古墳群	国史跡として、各古墳の整備が不十分と言える。また、土砂の流出が目立ってきている。赤井塚古墳の石室入口の石の一部が崩れていた。貴人塚古墳では、小動物の巣穴が17箇所も確認された。	市へ連絡済み。
	長瀬ノ左巻榎	枝の枯損が見られるものの、通常の生育状況と思われる。	市へ連絡済み。
熊野市	赤木城跡及び田平子刑場跡	赤木城跡内に設置されている説明板は劣化が進んでいて読めない。	市へ連絡済み。
	熊野の鬼ヶ城附獅子巖	手すり、遊歩道の流失がある。	市へ連絡済み
	漕八丁	吊り橋の主索および吊索が錆びている。安全点検の必要があると思われる。昨年落ちていた木橋が架け替えられている。	市へ連絡済み。 対応を検討中。
	楯ヶ崎	千畳敷の手すりが壊れている。	市へ連絡済み。
	大吹峠道	道に穴があき歩きづらい。	市へ連絡済み。対応済み。
御浜町	神木のイヌマキ 市木のイブキ	一部の枝の先端が枯れている。	町へ連絡済み。

(2) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
松阪・南勢志摩	平成25年5月29日(水) 13:30～16:30	県伊勢庁舎
尾鷲・熊野	平成25年5月31日(金) 13:30～16:30	県尾鷲庁舎
北勢・中勢・伊賀	平成25年6月3日(月) 13:30～16:30	県鈴鹿庁舎

内 容 平成25年度文化財保護事業の概要
指定文化財に関する事務手続き等について
文化財パトロールの実施について
出席者 市町教育委員会文化財保護行政担当者・三重県文化財保護指導委員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

目 的 オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する。

日 時 平成26年2月18日(火) 13:30～16:30

場 所 名張市図書館視聴覚室

講 演 「京都市における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査」

京都市文化市民局 文化芸術都市推進室

文化財保護課 建造物・記念物係長 長谷川 行孝

報告事項 ○オオサンショウウオ保全対策について

災害復旧工事における保全工法について 三重県伊賀建設事務所

伊賀市における工事 伊賀市建設部建設二課

ダム事業の進捗状況、環境保全対策の取り組みについて

独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所

オオサンショウウオの保護対策 奈良県宇陀土木事務所

助言者 松井 正文 (京都大学教授)

富田 靖男 (元三重県立博物館長)

佐藤 孝則 (天理大学おやさと研究所 教授)

松月 茂明 (元日本サンショウウオセンター学芸員)

清水 善吉 (三重県文化財保護指導委員)

③ ネコギギ保護連絡会議

目 的 ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行う

日 時 平成26年2月13日(木) 13:30～16:45

場 所 三重県桑名庁舎3階 第1会議室

講 演 「設楽ダム工事事務所のネコギギ保全の取り組み」

国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所 専門員 蔭山 敦士

事例報告 員弁川水系における災害復旧工事について 三重県桑名建設事務所

雲出川水系における災害復旧工事について 三重県津建設事務所

大台町宮川における堆積土砂撤去について 三重県松阪建設事務所

宮川水系大内山川における災害復旧工事について 三重県伊勢建設事務所

いなべ市ネコギギ再生事業について いなべ市教育委員会生涯学習課

亀山市ネコギギ緊急調査事業について 亀山市まちなみ・文化財室

中村川自然観察会について 松阪市嬉野地域振興局地域振興課

平成25年度ネコギギ生息状況調査報告

三重県教育委員会社会教育・文化財保護課

助言者 渡辺 勝敏 (京都大学大学院准教授)

森 誠一 (岐阜経済大学教授)

④ オオダイガハラサンショウウオ学習会

目 的 三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県及び奈良県、和歌山県教育委員会で協働して、おおだいがはらさんしょううおの学習会を開催することで、本種の保護について関係者の理解を深める。

日 時 平成25年 7月29日(月) 12:30～16:30
 場 所 大杉谷国有林
 内 容 おおだいがはらさんしょうおの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。

(3) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘(土木工事等)に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成25年4月から平成26年3月までに処理をおこなった当該通知・届出の件数は以下のとおりである。

	93条											94条											99条	合計					
	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	学校	道路	その他開発	計	鉄道	道路	河川	港湾・ダム	学校	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等			農業関係	その他開発	保存目的	計	
木曾岬町													0													0	0		
いなべ市	1	10				2	1	1				2	17													0	17		
東員町												2	2													0	2		
桑名市	6	39	2	1		4	1	8	2			2	65		2	1			1		1		3		8	18	91		
川越町													0													0	0		
朝日町													0													0	0		
菰野町		2					1	2				2	7													0	7		
四日市市	12	26				1	6	26				13	84										5		5	3	92		
鈴鹿市	6	64	2	2		19	4	21				7	125		3	1			2		2		1		9	9	143		
亀山市	3	32		1		2	5	10				4	57						1		2	1	1		5	1	63		
津市	7	44		3		10	5	1	56		1	17	144		14				1	7		9	2	1	34	3	181		
松阪市	1	142	2	6	1	7	8	28	2			3	200		2	2			4		2		1		11	3	214		
明和町		20		1		1	3					1	26									2			2	7	35		
多気町													0													0	0		
玉城町		4		1		2							7													0	7		
大台町						1							1													0	1		
度会町										1			1		1											1	2		
伊勢市	2	15		1			3					1	22													0	22		
鳥羽市													0		1						1					2	2		
志摩市		2		1				7					10			1		1	1				1		4	1	15		
南伊勢町													0													0	0		
大紀町								1					1													0	1		
紀北町													0													0	0		
尾鷲市													0							1						1	1		
熊野市													0													0	0		
御浜町													0													0	0		
紀宝町		1											1													0	1		
伊賀市	1	1				1	2		1			1	7		1	1			1				3		6	2	15		
名張市													0													0	0		
三重県													0		20	1	1	8	7	1		7	8		53	16	69		
国・大学	2												0		4						11	1			16		18		
計	2	39	402	6	17	1	50	39	1	160	6	1	0	55	777	0	48	7	1	10	25	2	27	13	24	0	157	63	999

(4) 埋蔵文化財の発見 (法第100条関係)

	物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
1	土師器・須恵器等	1	多気郡明和町大字斎宮字出在家	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H25. 3.29	H25. 4. 9
2	土師器・陶器等	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H25. 3.29	H25. 4. 9
3	土師器・陶器等	4	多気郡明和町大字斎宮字中西	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H25. 3.29	H25. 4. 9
4	磁器・土師器等	3	伊賀市上野農人町	上野城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 5.28	H25. 6. 3
5	土師器・陶磁器・石製品等	21	度会郡大紀町野添	野添大辻遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 7.30	H25. 8. 1
6	須恵器・土師器	12	桑名市大字志知	北山C遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 8.30	H25. 9. 5
7	縄文土器、土師器、山茶碗等	11	鈴鹿市小岐須町	釜垣内遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 9. 5	H25. 9.11
8	中世土器、近世土器など	9	伊勢市宮後	高河原遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 9.24	H25. 9.25
9	弥生土器、埴輪など	4	三重郡菟野町大字大強原	飛塚古墳	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 9.24	H25. 9.25
10	弥生土器、土師器、須恵器等	35	四日市市北山町	北山城跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25.12. 4	H25.12. 6
11	石器、縄文土器、土師器、須恵器等	66	四日市市北山町字中野山	中野山遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25.12.10	H25.12.18
12	須恵器、土師器、鉄製品、砥石	9	桑名市大字志知	北山C遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25.12.27	H26. 1. 8
13	石器、縄文土器、土師器、須恵器	41	四日市市北山町	中野山遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 1.17	H26. 1.23
14	縄文土器、土師器、須恵器、陶器など	26	津市安濃町内多	小アケ遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H26. 1.31	H26. 2. 3
15	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、木製品、石器等	63	鈴鹿市御園町字森ヶ坪、越知町字中沖	森ヶ坪遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.21	H26. 2.27
16	須恵器、土師器等	32	四日市市小牧町	筆ヶ崎西遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.17	H26. 2.27
17	土師器、須恵器、製塩土器、土製品、鉄製品等	33	四日市市小牧町地内	筆ヶ崎西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.19	H26. 2.27
18	土師器、須恵器、石製品等	2	員弁郡東員町大字長深 地内	筆ヶ崎西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.19	H26. 2.27
19	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶器、鉄製品、木製品等	84	松阪市立田町 地内	中坪遺跡	三重県	朝見上土地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
20	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶器、鉄製品、木製品等	222	松阪市朝田町 地内	堀町遺跡	三重県	朝見上土地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
21	土師器、陶器等	1	四日市市伊坂町字古屋敷	伊坂城跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
22	石器、土師器、須恵器	22	四日市市北山町	北山A遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
23	石器、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器	24	四日市市北山町	中野山遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
24	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、石器、金属器	226	四日市市小牧町	小牧南遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H26. 2.28	H26. 3. 7
25	須恵器、陶器等	2	四日市市西村町	公事出遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3.10	H26. 3.11
26	土師器、陶器	6	度会郡玉城町坂本	坂本里前遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3. 7	H26. 3.13
27	土師器、陶器	1	度会郡玉城町坂本	砂谷遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3. 7	H26. 3.13
28	土師器、陶器	1	度会郡玉城町坂本	広垣外遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3. 7	H26. 3.13
29	土師器、須恵器、土製品、石製品、鉄製品(鉄滓を含む)等	20	四日市市小牧町	筆ヶ崎西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3. 7	H26. 3.24
30	陶磁器、木製品等	5	松阪市本町	松坂城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H26. 3.14	H26. 3.24

(5) 埋蔵物の文化財認定（法第102条関係）

	物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
1	山茶碗・常滑焼甕・土師器鍋・古瀬戸・砥石	8	四日市市西坂部町字川原宮	川原宮遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会	H25. 3.21	H25. 4. 5	三重県教育委員会
2	山茶碗	1	津市久居西鷹跡町	久居城下町遺跡(H24-8次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 3.26	H25. 4. 5	三重県教育委員会
3	土師器・陶磁器・瓦等	8	伊賀市上野丸之内	国史跡上野城跡(20次)	伊賀市教育委員会教育長	財務省	伊賀市教育委員会	H25. 3.28	H25. 4. 5	三重県教育委員会
4	土師器、陶器、瓦	50	津市西丸之内	津城跡隣接地(H24-8次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25. 4.15	H25. 5. 2	三重県教育委員会
5	陶器	1	津市丸之内	津城跡(H25-1次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25. 5. 1	H25. 5.15	三重県教育委員会
6	土師器、陶器、磁器、瓦、寛永通宝	78	津市丸之内	津城跡	津市教育委員会教育長	株式会社百五銀行日本土建株式会社個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 5.14	H25. 5.28	三重県教育委員会
7	土師器・陶器片	1	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡上沖A地区(H25-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 5.24	H25. 6.11	三重県教育委員会
8	陶器、瓦	1	津市久居東鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-3次)	津市教育委員会教育長	積和不動産中部株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 5.24	H25. 6.11	三重県教育委員会
9	須恵器・土師器・土錘・剥片・輪羽口・山茶碗	2	鈴鹿市国府町字浜弓場	国府B遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 6.20	H25. 7. 1	三重県教育委員会
10	土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・丸瓦・刀子・釘・石器	43	鈴鹿市平野町	平野遺跡(第4次)	鈴鹿市長	社会福祉法人 鈴山会個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 6.20	H25. 7. 1	三重県教育委員会
11	陶器、硯	1	津市久居東鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-5次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 6.18	H25. 7. 1	三重県教育委員会
12	土師器、陶器、磁器、金属製品	10	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡1次(北畠氏館跡1次)	津市教育委員会教育長	宗教法人北畠神社	津市埋蔵文化財センター	H25. 6.18	H25. 7. 1	三重県教育委員会
13	土師器、陶器、磁器、金属製品	11	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡5次(北畠氏館跡2次)	津市教育委員会教育長	宗教法人北畠神社	津市埋蔵文化財センター	H25. 6.18	H25. 7. 1	三重県教育委員会
14	土師器・須恵器等	10	四日市市西坂部町字桜	貝野遺跡	四日市市教育委員会教育長	株式会社アラキ開発	四日市市教育委員会	H25. 6.18	H25. 7.10	三重県教育委員会
15	陶器、磁器	1	津市久居東鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-7次)	津市教育委員会教育長	三重県	津市埋蔵文化財センター	H25. 8. 7	H25. 8.20	三重県教育委員会
16	弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・土製品(土馬)・鉄滓	218	鈴鹿市十宮三丁目	宮ノ前遺跡第2次	鈴鹿市長	林建材株式会社	鈴鹿市考古博物館	H25. 8.16	H25. 9. 3	三重県教育委員会
17	陶磁器、瓦	2	津市丸之内	津城跡(H25-4次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.19	H25. 9. 3	三重県教育委員会
18	須恵器、陶磁器	2	津市河芸町杜の街4丁目地内	西毛谷北古墳(H24-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
19	須恵器	1	津市河芸町杜の街4丁目地内	大野南遺跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
20	須恵器	1	津市河芸町杜の街3丁目地内	徳居9号窯跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
21	須恵器	1	津市河芸町杜の街4丁目地内	徳居10号窯跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
22	須恵器	1	津市河芸町杜の街4丁目地内	西毛谷北古墳(H25-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
23	土師器	1	津市河芸町杜の街4丁目地内	西毛谷南古墳(H25-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
24	須恵器	1	津市河芸町杜の街4丁目地内	徳居10号窯跡(H25-1次)	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H25. 8.27	H25. 9.10	三重県教育委員会
25	土師器・須恵器等	3	四日市市北山町字谷尻	北山A遺跡	四日市市教育委員会教育長	個人	四日市市教育委員会	H25. 9.27	H25.10. 4	三重県教育委員会
26	土師器	1	津市城山一丁目	高茶屋大垣内遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25.10. 2	H25.10.17	三重県教育委員会
27	須恵器・土師器・軒丸瓦・瓦・セン・鉄滓・山茶碗・山皿・白磁	2	鈴鹿市国分町字人足道	狐塚遺跡(伊勢国分寺跡第39次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25.10.17	H25.10.25	三重県教育委員会
28	土師器・須恵器・黒色土器・灰釉陶器	1	鈴鹿市平野町字花林	平野遺跡(第5次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25.10.17	H25.10.25	三重県教育委員会
29	弥生土器・土師器・須恵器・近世陶器・近世瓦	2	鈴鹿市国府町字貝下	三宅神社遺跡(第6次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25.10.17	H25.10.25	三重県教育委員会
30	土師器	1	鈴鹿市弓削一丁目	平田遺跡(第25次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25.10.17	H25.10.25	三重県教育委員会
31	土師器・須恵器、山茶碗	1	津市南河路、津市神戸	神戸遺跡鳥井前地区(H25-1次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25.11.15	H25.11.22	三重県教育委員会
32	土師器・須恵器	4	津市南河路	神戸遺跡鳥井前地区	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25.12. 3	H25.12.17	三重県教育委員会
33	土師器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H25-3次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25.12.11	H25.12.24	三重県教育委員会
34	縄文土器、須恵器、埴輪など	3	亀山市田村町	日本武尊 能褒野墓	宮内庁書陵部長	宮内庁	宮内庁	H25.12. 6	H26. 1.10	三重県教育委員会
35	土師器、陶器、金属製品、石製品等	17	津市美杉町上多気字馬場	多気北畠氏遺跡(北畠氏館跡)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25.12.25	H26. 1.10	三重県教育委員会
36	土師器・須恵器、陶磁器等	10	伊賀市佐那具町	法華堂東館跡	伊賀市教育委員会教育長	個人	伊賀市教育委員会	H26. 1.11	H26. 1.27	三重県教育委員会
37	山茶碗	1	鈴鹿市西条三丁目	狐穴遺跡(第2次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H26. 1.14	H26. 2. 4	三重県教育委員会
38	土師器、陶器、磁器、瓦	1	津市久居西鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-9次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H26. 1.30	H26. 2.14	三重県教育委員会
39	土師器、山茶碗、瓦器、陶器	1	津市美杉町下之川字村	村遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H26. 1.27	H26. 2.14	三重県教育委員会
40	石器、縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、黒色土器、山茶碗、山皿、青磁、白磁、常滑焼、古瀬戸、天目茶碗、瓦、鞆の羽口、鉄製品、鉄滓、銅製品、陶器	14	鈴鹿市八野町	八野遺跡第1次	鈴鹿市長	株式会社オートモール	鈴鹿市考古博物館	H26. 2.21	H26. 3. 3	三重県教育委員会
41	土師器	1	鈴鹿市神戸七丁目	十宮古里遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H26. 2.21	H26. 3. 3	三重県教育委員会
42	土師器、須恵器	1	鈴鹿市御園町	長畑遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H26. 2.21	H26. 3. 3	三重県教育委員会
43	土師器、陶磁器、瓦	10	津市丸之内	津城跡	津市教育委員会教育長	三交不動産株式会社	津市埋蔵文化財センター	H26. 2.21	H26. 3. 3	三重県教育委員会
44	土器・金属器 他	45	志摩市阿児町志島	志島古墳群4号墳	志摩市教育委員会教育長	志摩市	志摩市教育委員会	H26. 1.31	H26. 3. 3	三重県教育委員会
45	敲石、弥生土器、辰砂原石	2	松阪市小片野町白ヶ谷	太田・白ヶ谷遺跡	個人	個人	松阪市教育委員会事務局	H26. 2.20	H26. 3.10	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
46	土師器、須恵器、陶器、磁器、鍔貨、木製品	59	津市北河路町	蔵田遺跡(第5次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H26. 2.21	H26. 3.10	三重県教育委員会
47	土師器	1	津市納所町	納所遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H26. 3.12	H26. 3.25	三重県教育委員会

(6) 出土文化財の譲与

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
1	H25. 4. 2	津市教育委員会教育長	縄文土器、土師器	1	津市藤方字黒木	黒木遺跡	H24. 7. 5
2	H25. 4. 2	津市教育委員会教育長	土師器、陶磁器	1	津市一身田町字中ノ町	一身田寺内町遺跡(H24-1次)	H24. 7.10
3	H25. 4. 2	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器、磁器、埴輪、瓦、砥石	91	津市一身田豊野字てノ坪	山の脇遺跡(第2次)	H23.10.25
4	H25. 4. 5	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市栗真町屋町	鬼が塩屋遺跡(H24-2次)	H24. 8.28
5	H25. 4.16	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、瓦、木製品	2	津市西丸之内	津城跡(H24-3次)	H24. 7.27
6	H25. 4.16	津市教育委員会教育長	土師器、陶磁器、瓦、鉄製品、木製品	4	津市西丸之内	津城跡(H23-3次)	H24. 3.28
7	H25. 4.22	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、土錘、山茶碗、陶器等	1	津市北河路町字荒堀、津市北河路町字平田	蔵田遺跡	H24. 3.12
8	H25. 4.22	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器等	1	津市北河路町字出口	位田遺跡	H24. 3.12
9	H25. 4.22	津市教育委員会教育長	土師器、陶器	1	津市一身田町地内	一身田寺内町遺跡(H23-2次)	H24. 3. 8
10	H25. 5. 1	鈴鹿市長	土師器・須恵器・埴輪	1	鈴鹿市南若松町	南原永I遺跡・岸岡山1号窯跡	H24. 9.12
11	H25. 5. 1	鈴鹿市長	灰釉陶器・中世陶器(山茶碗・片口鉢)	1	鈴鹿市弓削二丁目	岡太神社遺跡	H24. 9.27
12	H25. 5. 1	鈴鹿市長	須恵器、山茶碗、埴輪	2	鈴鹿市国分町字庄ノ山	境谷遺跡(第3次)	H24.10. 3
13	H25. 5. 8	四日市市教育委員会教育長	丸瓦、平瓦、土師器、須恵器、灰釉陶器等	10	四日市市南いかるが町	大膳寺跡	H25. 3.11
14	H25. 5. 8	津市教育委員会教育長	土師器・陶器	1	津市美杉町下多気	多気北畠氏遺跡上村地区・福寿院跡(H23-1次)	H24. 9.13
15	H25. 5. 8	津市教育委員会教育長	縄文土器、土師器、山茶碗	1	津市美杉町下之川	村遺跡(H24-1次)	H24. 9.27
16	H25. 7. 5	津市教育委員会教育長	土師器、陶器等	103	津市美杉町上多気馬場	多気北畠氏遺跡第26次(北畠氏館跡第12次)	H17. 3.31
17	H25. 7. 5	津市教育委員会教育長	土師器、陶器等	7	津市美杉町上多気字六田	多気北畠氏遺跡第27次(上多気六田地区第2次 六田館跡第3次)	H16.12.10
18	H25. 7. 9	鈴鹿市長	土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・山茶碗・山皿・白磁・青磁・古瀬戸・瓦・木製品	49	鈴鹿市国府町字木曾田	木曾田遺跡(第2次)	H24.11.30
19	H25. 7.29	四日市市教育委員会教育長	茂福城跡・里之内遺跡出土遺物土師器皿、羽釜、陶器、木製品、動植物遺体等	8	四日市市茂福町及び大字茂福	茂福城跡	H23.12. 8
20	H25. 8. 7	津市教育委員会教育長	土師器、灰釉陶器、陶器、石製品	1	津市河芸町上野	中須遺跡(H24-1次)	H25. 1.10
21	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市美濃田町字下でん	ヶ所垣内遺跡	H23. 8.10
22	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市伊勢寺町字寺北	伊勢寺遺跡	H23. 8.10
23	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市伊勢寺町字寺北田	伊勢寺遺跡	H23. 8.10
24	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市飯南町粥見	奥新田遺跡	H23. 8.10
25	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市甚目町字土亀	観音寺推定地	H23. 8.10
26	H25.11.11	松阪市教育委員会教育長	縄文土器等	32	松阪市嬉野島田町字焼	蛇亀橋遺跡	H23. 8.10

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
27	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市本町	松坂城下町遺跡	H23. 8.10
28	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市殿町	松坂城跡	H23. 8.10
29	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市黒田町	新田町遺跡	H23. 8.10
30	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	弥生土器等	1	松阪市久保町字森戸	草山遺跡	H23. 8.10
31	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	5	松阪市中道町上野田	中林・中道遺跡	H23. 8.10
32	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市中林町字北浦	中林・中道遺跡	H23. 8.10
33	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市嬉野釜生田町字天白	天白遺跡	H23. 8.10
34	H 25.11.11	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市舞出町字保登田	舞出南遺跡	H23. 8.10
35	H 25. 9.20	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町太田	清水北浦遺跡(H24-2次)	H25. 1.17
36	H 25. 9.20	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市白山町八対野地内	中切遺跡(H24-1次)	H25. 1.15
37	H 25.10.18	津市教育委員会教育長	土師器片	1	津市美杉町八知字堀田口	八知市場遺跡(H24-2次)	H25. 3.25
38	H 25.11.29	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、瓦	50	津市西丸之内	津城下町遺跡(津城跡隣接地(H24-8次))	H25. 4.15
39	H 26. 1.16	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、瓦、寛永通宝	78	津市丸之内	津城跡	H25. 5.14
40	H 26. 1.16	津市教育委員会教育長	陶器、瓦	1	津市久居東鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-3次)	H25. 5.24
41	H 26. 1.20	津市教育委員会教育長	土師器、陶器片	1	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡上沖A地区(H25-1次)	H25. 5.24
42	H 26. 1.20	津市教育委員会教育長	陶器、硯	1	津市久居東鷹跡町	久居城下町遺跡(H25-5次)	H25. 6.18
43	H 26. 1.20	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、金属製品	10	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡1次(北畠氏館跡1次)	H25. 6.18
44	H 26. 1.20	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、金属製品	11	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡5次(北畠氏館跡2次)	H25. 6.18
45	H 26. 1.29	鈴鹿市長	灰釉陶器	1	鈴鹿市国分町字念佛山	狐塚遺跡(国分寺跡第37次)	H25. 2.15
46	H 26. 1.29	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市国分町字西谷	伊勢国分寺跡	H25. 2.28
47	H 26. 1.29	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市国分町字堂跡	国分寺北遺跡	H25. 2.28
48	H 26. 1.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、陶器	4	鈴鹿市平野町字花林	平野遺跡(第3次)	H25. 2.28
49	H 26. 2.18	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、石器(磨石・砥石)、土製品(ミニチュア土器)、石製品(石製模造品)、鉄器	30	鈴鹿市木田町字上條	磐城山遺跡(第5次)	H25. 2.20

3 国・県指定文化財の現状変更等 [平成25年4月1日から平成26年3月31日まで]

(1) 国指定文化財現状変更等

① 重要文化財現状変更 (※印は県による許可)

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	内 容
旧松坂御城番 長屋 東棟 西棟	合資会社 苗秀社	個人	H25. 7. 12	H25. 7. 23	H25. 12. 17	東棟2の裏側に独立して建つ居住者用離れの耐震化工事(※)
松浦武四郎関 係資料	松阪市	松阪市長	H25. 12. 10	H26. 3. 18		蝦夷屏風の修理に伴い、六曲一双を六曲二双とする

② 重要文化財修理届

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	内 容
旧諸戸家住宅 附 棟札 2 棟 1枚	桑名市	桑名市長	H26. 1. 6	H26. 3. 4		外壁修理、建具修理、漏水修理、蟻害対策

③ 重要文化財き損届

名 称	届出者	届出日	き損日	内 容
旧賓日館 本館、大広間棟、土蔵	伊勢市長	H25. 6. 12	H25. 5. 13	大広間棟1階まつの間の床柱の虫害
観菩提寺本堂	観菩提寺	H25. 7. 4	H25. 6. 14	本堂北面扉(右)の経年劣化によるき損
大村神社宝殿 附 棟札3枚	大村神社	H25. 8. 6	H25. 7. 29	北面入母屋西側破風尻の獣害によるき損
旧諸戸家住宅 附 棟札 2棟 1枚	桑名市長	H25. 12. 6	不明	洋館3階屋根部分の漏水 洋館車寄せ部分の天井の漏水 洋館玄関の壁面はらみ出し 洋館2階軒天井の腐食 洋館1階便所床、巾木、床組の腐食と蟻害 和館東便所床、大引、根太の腐食と蟻害
旧賓日館 本館、大広間棟、土蔵	伊勢市長	H26. 2. 24	H26. 2. 14	積雪による屋根瓦ズレ、樋の歪み等

④ 重要文化財無償貸付

名 称	所有者	申請者	申請日	貸付期間	使用目的
三重県縄生廃寺塔心礎納置 品 一括	国	朝日町歴史博物館長	H25. 2. 5	H25. 4. 1～ H26. 3. 31	朝日町歴史博物館の常設展示に展示するため

⑤ 重要文化財公開許可 (県内施設、国許可)

名 称	所有者	申請者	申請日	公開期間	公開理由
古伊賀水指	公益財団 法人五島 美術館	公益財団法人 石水博物館理 事長兼館長	H25. 8. 22	H25. 10. 4 ～11. 24	特別展「半泥子がみた名品」に出展

⑥ 重要文化財公開届（公開承認施設）

名 称	所有・管理者	申請者	届出日	公開期間	公開理由
奈良県山田寺跡出土品	独立行政法人文化財機構	齋宮歴史博物館長	H25. 6. 6	H25. 4.20～ 6. 2	春季企画展「いにしへの赤色」に出展
日本書紀（紙背和歌懐紙） 附 永和三年霜月四日寄進状	熱田神宮	齋宮歴史博物館長	H25.11.23	H25.10.5～11.10	特別展「齋宮誕生」に出展
本居宣長稿本類並関係資料 附 本居宣長自画像（著色） 自賛 四十四才像並六十一才像	松阪市				
伊勢神島祭祀遺物	八代神社				
三重県繩生庵寺塔心礎納置品	国（文化庁）				
奈良県山田寺跡出土品	独立行政法人文化財機構	朝日町歴史博物館長	H26. 2.18	H26. 1.18～ 2.16	「朝日の名付け親 館通因と壬申の乱」に出展

⑦ 国指定文化財の勧告・承認出品

件 名	所有管理者	出品施設	館 別	承認・勧告日	出品区分
絹本著色聖徳太子勝鬘經講讃図	西来寺	独立行政法人国立文化財機構	京都国立博物館	H25. 5. 15	出品勧告
絹本著色聖徳太子像	四天王寺	大阪市立美術館	—	H25. 5. 15	出品承認
絹本著色藤堂高虎像 附 同夫人像 一幅		独立行政法人国立文化財機構	京都国立博物館		出品勧告
伊勢国朝熊山経ヶ峯経塚出土品のうち（銅経筒二口・銅鏡二面分 経卷十三卷）	金剛證寺	独立行政法人国立文化財機構	奈良国立博物館	H25. 5. 15	出品勧告
紙本墨書勧進状 附 絹本著色忍性上人像／額田部実澄像 二幅	大福田寺	独立行政法人国立文化財機構	奈良国立博物館	H25. 5. 15	出品承認
絹本著色釈迦八相成道図		独立行政法人国立文化財機構	奈良国立博物館		出品勧告

⑧ 重要文化財所在場所変更

名 称	届出者	届出日	変更日	変更理由
成唯識論述記卷第九本（刊本）	個人	H26. 1. 7	H26. 3. 1	相続による
御野国加毛郡半布里大宝二年戸籍断簡	個人	H26. 1. 7	H26. 3. 1	相続による

⑨ 重要文化財所有者変更

名 称	旧所有者	新所有者	届出日	内 容
成唯識論述記卷第九本（刊本）	個人	個人	H26. 1. 7	相続による
御野国加毛郡半布里大宝二年戸籍断簡	個人	個人	H26. 1. 7	相続による

⑩ 国指定史跡及び名勝現状変更（※は県・*は市の法定受託事務による許可）

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
史 久留倍官衙遺跡	四日市市ほか	四日市市教育委員会教育長	H25. 5.22	H25. 6.24		史跡整備
		四日市市教育委員会教育長	H25. 9.17	H25.10.18	H25.12.27	史跡整備のための発掘調査
史 熊野参詣道	三重県	三重県知事	H25. 3.15	H25. 4.19		堤防階段設置
		三重県知事	H25. 5.13	H25. 7.19		堤防設置

名称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
史 熊野参詣道	御浜町	御浜町長	H25. 6.14	H25. 7.19		平成23年台風12号による災害復旧
		三重県知事	H25.10. 8	H25.11.15		地すべり復旧工事
	国土交通省	三重県知事	H25. 8.22	H25.10.18		堤防階段設置
		国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所	H25.10. 3	H25.11.15		熊野川浚渫土砂による養浜
		三重県知事	H26. 1. 7	H26. 2.14		堤防設置
花の窟神社	熊野市長	H25. 9.17	H25. 9.17		投光器具の仮設置（*）	
名 諸戸氏庭園	公益財団法人諸戸財団	公益財団法人諸戸財団代表理事	H25. 4.23	H25. 5.17		建造物保存修理・庭園整備
		公益財団法人諸戸財団代表理事	H25. 8. 7	H25. 9.20		庭園整備・建造物保存修理（護岸修理・支障木伐採・藤茶屋中門修理・広間樋の材質変更）
		公益財団法人諸戸財団代表理事	H25.11.14	H25.12.13		保存整備のための発掘調査
名 二見浦	国土交通省・伊勢市ほか	三重県知事	H25. 4. 9	H25. 5.17		突堤設置工事
		三重県知事	H25.10.25	H26. 2.19		突堤設置工事（期間変更）
		三重県知事	H25.10.25	H25.12.13		養浜工事
		三重県知事	H23.11.21	H24. 1.20	H25. 9. 6	突堤設置工事
		伊勢市長	H26. 3.17			橋梁架替工事
史 多気北畠氏城館跡	津市	津市長	H25. 8.15	H25. 9.20	H26. 1.14	整備活用のための発掘調査
	個人	個人	H25.12.12	H26. 1.17	H26. 2.28	浄化槽設置
史 旧林崎文庫	神宮	神宮	H25. 9.26	H25.11.15	H26.12. 2	柱等部材の交換
史 旧豊宮崎文庫	伊勢市	伊勢市長	H25.10. 7	H25.11.15	H25.12.25	保存管理計画策定のための発掘調査
史 旧崇広堂	伊賀市	伊賀市長	H25. 8.12	H25. 9.20	H25.12.27	書物蔵の瓦・漆喰等の修理
史 上野城跡	財務省伊賀市	伊賀市長	H25.10. 4	H25.11.15		既設建物撤去及び道路改修
		伊賀市長	H25.10.17	H25.11.15		史跡整備（石垣復元・遺構表示等）及び発掘調査
史 伊勢国分寺跡	鈴鹿市	鈴鹿市長	H25.10. 8	H25.11.15	H26. 3.31	史跡整備

⑪ 国指定史跡齋宮跡現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	30件	内、法定受託事務等による許可 14件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	5件	内、法定受託事務等による許可 2件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	7件	内、法定受託事務等による許可 3件
計画的発掘調査のための申請	3件	
計	45件	内、法定受託事務等による許可 19件

⑫ 国指定史跡及び名勝き損届

名 称	届出者	届出日	き損日	内 容
名 旧諸戸氏庭園	桑名市長	H25. 4. 11	H25. 4. 9	倒木
名 諸戸氏庭園	公益財団法人諸戸財団代表理事	H25. 4. 23	H25. 3. 25	樹木の枯死
史 熊野参詣道 伊勢路（ツヅラト峠）	紀北町長	H25. 8. 13	H25. 8. 3	樹木の根の張出しと大雨による野面積みの崩落
史 上野城跡	伊賀市長	H25. 9. 24	H25. 9. 16	台風18号による法面の崩落
史 旧崇広堂	伊賀市長	H25. 9. 20	H25. 9. 18	車両の接触によると思われる土塀の塗り壁の剥離
	伊賀市長	H25. 10. 9	H25. 10. 8	雨水等による書物蔵等の漆喰の剥離
名 二見浦	伊勢市長	H25. 9. 26	H25. 9. 17	台風18号による大注連縄の切断等
	三重県知事	H25. 12. 13	H25. 12. 6	波浪の影響による護岸内部の空洞化
史 松坂城跡	松阪市長	H25. 9. 20	H25. 9. 16	台風18号による法面の崩落

⑬ 国指定史跡及び名勝復旧届

件 名	所有者	届出者	届出日	完了日	復旧内容
名 二見浦	国土交通省・伊勢市ほか	三重県知事	H25. 12. 16		波浪の影響により内部が空洞化した護岸の復旧
史 熊野参詣道 （ツヅラト峠道）	紀北町	紀北町長	H26. 1. 10		石積みの崩落

⑭ 国指定天然記念物現状変更（※は県・*は市の法定受託事務による許可）

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
多度のイヌナシ自生地	個人	個人	H23. 7.12	H23. 9.16	H25. 4. 8	試料採取（植生調査）
白子不断櫻	白子山観音寺	宗教法人観音寺代表役員	H23. 2.28	H23. 4. 8	H25. 5.15	不要枝の剪定及び土壌改良（平成24年3月27日期間延長承認）
		宗教法人観音寺代表役員	H25. 5.16	H25. 6.21		不要枝の剪定及び土壌改良
大杉谷	国（国有林）	三重県知事	H25. 6. 4	H25. 7.19		大杉谷登山歩道の復旧
		環境省 近畿地方環境事務所長	H25.10.11	H25.11.28		迷い込み防止柵設置
須賀利大池及び小池	国、尾鷲市須賀利区、個人	（株）野生動物保護管理事務所	H25. 9.10	H25. 9.18		カワウの生息状況調査のための定点カメラ設置*
		環境省 近畿地方環境事務所長	H24.11.27	H25. 1. 7	H25. 3.31	防鹿柵の設置
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	田光区、個人	菟野町教育委員会教育長	H25.10. 4	H25.11.15	H25.11.29	植生管理
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	国・県・熊野市	七里御浜鯉のぼりの会	H25. 3.24	H25. 3.26	H25. 6.11	イベント横断幕の設置*
		熊野市長	H25. 7. 1	H25. 7. 1	H25. 9. 5	花火行事のための工作物の設置*
		七里御浜鯉のぼりの会	H26. 3.20	H26. 3.27		イベント横断幕の設置*
中村川ネコギギ生息地	三重県（河川管理者）	松阪市長	H25. 3.26	H25. 4.19	H25. 8.11	自然観察会
ネコギギ		国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所長	H24. 9. 5	H24.10.19	H25. 4.30	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.19	H24.10.19	H25. 5.24	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.24	H24.10.19	H25. 5.31	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24.11.30	H25. 1.18	H25. 4.24	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24.12.27	H25. 2.27	H25. 7.26	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動

名称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
ネコギギ		三重県知事	H24.12.27	H25. 2.27	H25. 8.31	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 1.28	H25. 2.27	H25. 7.31	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 4. 3			工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 4. 3			工事に伴う一時捕獲・移動
		国土交通省中部地方整備局設楽ダム管理所長	H25. 4. 4	H25. 6.21		飼育個体の移動・移動先での飼育
		三重県知事	H25. 4.16	H25. 6.21		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		亀山市教育委員会教育長	H25. 4.24	H25. 6.21		市事業に伴う一時捕獲・試料採取
		中日本高速道路株式会社四日市工事事務所長	H25. 5.16	H25. 6.17	H25.11.15	工事に伴う生息調査*
		三重県知事	H25. 5.27	H25. 5.27	H25. 7.10	工事に伴う生息調査*
		いなべ市教育委員会教育長	H25. 6. 5	H25. 6.20		試料・個体採取、飼育増殖、飼育展示(計画変更)
		三重県知事	H25. 7. 1	H25. 9.20		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 7.22	H25. 9.20		工事に伴う一時捕獲・移動
		国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所長	H25. 7.25	H25. 9.20		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 8.20	H25.10.18		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 8.21	H25.10.18		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 8.28	H25.11.15	H26. 2.25	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 8.29	H25.11.15	H26. 3.14	工事に伴う一時捕獲・移動
		国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所長	H25. 8.30	H25.11.15		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 9. 4	H25.11.15	H26. 1.20	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 9.11	H25.11.15	H26. 3. 3	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 9.25	H25.11.15	H26. 3.31	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25.10. 8	H25.11.15		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25.11.15	H25.12.13		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		いなべ市長	H25.11.22	H26. 1.17	H26. 3.24	展示に伴う移動・一時飼育
		三重県知事	H25.12. 4	H26. 1.17		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25.12.17	H26. 1.17		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25.12.19	H26. 2.14		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所長	H26. 2.26			飼育個体の移動・移動先での飼育
		亀山市教育委員会教育長	H26. 2.28			市事業に伴う一時捕獲・試料採取
		三重県知事	H26. 3.18			工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事	H26. 3.19			工事に伴う一時捕獲・移動(期間変更)		
オオサンショウウオ		独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H24. 6. 7	H24. 6. 8	H25. 6.25	生息状況調査*
		伊賀市長	H25. 1. 9	H25. 2.27	H26. 3.14	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H25. 5.22	H25. 5.23		生息状況調査*
		伊賀市長	H25. 5.30	H25. 7.19	H26. 2.28	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		伊賀市長	H25. 6. 3	H25. 6. 3	H26. 2.28	生息状況調査*
		三重県知事	H25. 6. 3	H25. 7.19		工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		伊賀市教育委員会教育長	H25. 7. 1	H25. 7. 2	H25. 8.27	生息状況調査*
		三重県知事	H25. 9.19	H25.11.15		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		国土交通省近畿地方整備局	H25. 9.20	H25.11.15		工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		三重県知事	H25.10.30	H25.12.13		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
オオサンショウウオ		三重県知事	H25.11.11	H25.12.13		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・組織採取
		三重県知事	H25.11.12	H25.12.13		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・組織採取
		独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H25.11.22	H26. 1.17	H26. 2.28	人口巣穴の撤去作業に伴う一時捕獲・移動
		伊賀市長	H25.11.26	H26. 1.17	H26. 3.24	護岸復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		三重県知事	H26. 1. 6	H26. 2.14		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
		伊賀市長	H26. 1.14	H26. 2.14		工事に伴う一時捕獲・保護飼育・試料採取
		株式会社鳥羽水族館	H26. 2.15	H26. 3.18		移動及び飼育展示
		県立博物館長	H26. 3. 6			移動及び飼育展示
		津市長	H26. 3.25			災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
ヤマネ		大日コンサルタント株式会社	H24. 6. 7	H24. 6.11	H25. 5. 9	生息状況調査※
		大日コンサルタント株式会社	H25. 5.14	H25. 5.17		生息状況調査※
御池沼沢植物群落		四日市市教育委員会	H23. 8. 8	H23. 9.16	H25. 7. 4	植生管理、改修工事
		四日市市教育委員会	H25. 7.12	H25. 8. 9	H26. 3.31	植生管理
		四日市市教育委員会	H25. 9.17	H25.10.18	H26. 3.31	試料採取・浚渫
		四日市市教育委員会	H25. 9.18	H25.11.15	H26. 3.31	環境整備
		四日市市教育委員会	H25. 9.20	H25.11.15	H26. 3.31	水路改修・浚渫
イジマムシクイ		個人	H25. 4.18	H25. 4.30	H25. 8.31	一時捕獲及び標識の装着※

⑮ 国指定天然記念物滅失・き損届

名 称	届出者	届出日	き損日	内 容
オオサンショウウオ	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H25. 4. 23	H25. 3. 22	飼育個体（野外由来）の滅失
	伊賀市教育委員会教育長	H25. 8. 5	H25. 8. 2	前深瀬川種生地内（野生個体）の滅失（死因不明）
	九木浦協同組合長	H25. 4. 15	H25. 4. 6	大雨による崖の崩落
九鬼神社樹叢	熊野市教育委員会教育長	H25. 4. 2	H25. 4. 1	道路にて発見（法面からの滑落死）
カモシカ	桑名市教育委員会教育長	H25. 4. 10	H25. 4. 2	山道脇で発見（死因不明・死後数ヶ月経過）
	いなべ市教育委員会教育長	H25. 4. 17	H25. 4. 17	山道脇で発見（死因不明）
	熊野市教育委員会教育長	H25. 5. 7	H25. 5. 7	道路にて発見（法面のモルタルとフェンスに挟まれ衰弱死・死後数ヶ月経過）
	菰野町教育委員会教育長	H25. 9. 2	H25. 8. 30	道路にて発見（事故死）
	大台町教育委員会教育長	H25. 10. 16	H25. 10. 12	道路にて発見（事故死）
	津市教育委員会教育長	H26. 2. 25	H26. 2. 23	獣害防除ネットに絡まった状態で発見（衰弱死）
	津市教育委員会教育長	H26. 3. 13	H26. 3. 10	河川にて発見（溺死）
	津市教育委員会教育長	H26. 3. 24	H26. 3. 14	河川にて発見（衰弱死）
東阿倉川イヌナシ自生地	四日市市教育委員会教育長	H25. 9. 20	H25. 9. 16	台風18号による枝のき損
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	熊野市長	H25. 9. 24	H25. 9. 16	台風18号による手すりのき損
ネコギギ	いなべ市教育委員会教育長	H25. 11. 26	H25. 7. 29 H25. 8. 7 H25. 10. 2	保護施設内で飼育中の個体の滅失（死因不明）

⑯ 国登録有形文化財（建造物）現状変更届

名 称	届出者	届出日	受理日	完了日	内 容
白川小学校校舎 南棟、北棟	亀山市長	H25. 5. 28	H25. 6. 18		耐震補強工事に伴う 現状変更
赤井家住宅 主屋、土塀、長屋門	伊賀市長	H25. 7. 1	H25. 7. 17		整備活用に伴う一部 撤去・改修・施設新 設
白川小学校校舎 南棟、北棟	亀山市長	H25. 10. 31	H25. 10. 31		耐震補強工事に伴い 新知見が得られ、復 原するための現状変 更（校舎外観色の変 更）
北村酒造 土蔵	セルスター工業 株式会社	H26. 3. 3	H26. 4. 2		解体による除却

⑰ 国登録有形文化財（建造物）き損届

名 称	届出者	届出日	き損発見日	内 容
旧明村役場庁舎	津市長	H25. 9. 20	H25. 9. 17	台風18号によるき損 （2階廊下、窓ガラスの落下・ 破損、漆喰壁の崩落）
西生寺本堂	西生寺	H25. 9. 26	H25. 9. 16	台風18号によるき損 （壁面の崩落）

(2) 県指定文化財現状変更等

① 有形文化財現状変更

名 称	所有者	申請者	申請日	受理日	完了日	内 容
磨崖聖観音立 像 附 紙本 淡彩聖観音立 像	浄蓮寺 津市	浄蓮寺	H25. 4. 17	H25. 4. 24	H25. 12. 28	附の紙本淡彩聖観音 立像の修理 本紙と裏書を別に表 装

② 有形文化財修理届

名 称	届出者	届出日	受理日	完了日	内 容
旧小田小学校本館	伊賀市長	H25. 5. 7	H25. 5. 10	H25. 5. 28	台風17号による漆喰 壁の剥落の修理

③ 有形文化財き損届

名 称	届出者	届出日	受理日	内 容
旧三重県第三尋常中学校 校舎	三重県立上野高 等学校長	H26. 2. 26	H26. 3. 3	H26. 2. 14の大雪により、棟および 降棟先端の鬼瓦破損、樋の歪み

④ 有形文化財所在場所の変更（元の場所に復する場合）

名 称	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	公開理由
古伊賀水指 銘「鬼の首」 附 漆蓋 外箱蓋あて紙 外箱 内箱	公益財団法人石 水博物館	(財)林原美 術館	H25. 4. 15	H25. 4. 23 ～8. 10	特別展「金重陶陽が 慕った川喜田半泥子 と茶の湯の世界」に 出展
絹本着色松平定信像	鎮國守國神社	サントリー 美術館	H25. 5. 31	H25. 6. 18 ～9. 20	「生誕250周年 谷文 晁」に出展

名 称	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	公開理由
土偶（粥見井尻遺跡出土）	三重県 （埋蔵文化財センター）	鈴鹿市考古博物館	H25. 6. 21	H25. 7. 1 ～9. 20	企画展「小さきものたちーにんぎょうのれきしー」に出展
松浦武四郎関係資料	松阪市	静嘉堂文庫美術館	H25. 9. 20	H25. 10. 3 ～H25. 12 初旬	「幕末の探検家 松浦武四郎」展に出展
紙本墨書大般若経	立神自治会	志摩市歴史民俗資料館	H25. 9. 26	H25. 10. 30 ～H25. 12 初旬	企画展「円空さんと志摩展」に出展
紙本墨書大般若経	片田区				
谷川土清関係資料 附 谷川順端（義章）書状など6通	公益財団法人石水博物館	国立大学法人 三重大学付属図書館	H25. 10. 17	H25. 11. 12 ～11. 20	企画展「三重の風土と文学」に出展
紙本着色伊勢両宮曼荼羅図	神宮	九州国立博物館	H25. 10. 20	H25. 11. 20 ～H26. 3末	特別展「国宝 大神社展」に出展
紙本墨書尾鷲大庄屋文書	尾鷲市 （中央公民館）	尾鷲市民文化会館	H25. 11. 11	H25. 11. 26 ～11. 30	「尾鷲市内の文化財展」に出展
須賀利浦方文書	須賀利区	尾鷲市民文化会館	H25. 11. 11		
木簡（柚井遺跡出土1号）	桑名市博物館	名古屋市博物館	H25. 12. 13	H25. 12. 25 ～ H26. 2. 16 以降	特別展「文字のチカラー古代東海の文字世界ー」に出展
蓮如・如光上人連坐像	本宗寺	本宗寺	H26. 3. 6	H26. 3. 18 ～3. 25	法要のため
紺紙金銀阿惟越致遮経巻下（中尊寺経）	徳蓮寺	徳蓮寺	H26. 3. 12	H26. 4. 4 ～4. 6	法要のため

⑤ 有形文化財所在場所の変更

名 称	所有者	変更場所	届出日	変更理由
木造薬師如来坐像	見徳寺	奈良国立博物館	H25. 8. 5	寄託先変更
鹿角装大刀	志摩市教育委員会	志摩市歴史民俗資料館	H26. 2. 24	旧所在場所の小学校が休校となるため

⑥ 有形文化財公開届（公開承認施設）

名 称	所有・管理者	申請者	届出日	公開期間	公開理由
絹本着色大威徳明王像	滝仙寺	斎宮歴史博物館長	H25. 6. 6	H25. 4. 20 ～6. 2	春季企画展「いにしへの赤色」に出展
木造荒神像	庫蔵寺				
大淀三千風遺墨並びに関係資料 附 一柳亭贈手文庫	松阪市	朝日町歴史博物館長	H25. 10. 25	H25. 9. 14 ～10. 13	企画展「俳文学の世界展」に出展
初期須恵器・韓式系土器（六大A遺跡出土）	三重県	斎宮歴史博物館長	H25. 11. 23	H25. 10. 5 ～11. 10	特別展「斎宮誕生」に出展
夏見廃寺出土埴仏・塑像	名張市教育委員会	朝日町歴史博物館長	H26. 2. 18	H26. 1. 18 ～2. 16	企画展「朝日の名付け親 館通因と壬申の乱」に出展

⑦ 有形文化財所有者変更届

名 称	旧所有者	新所有者	届出日	内 容
短刀 銘藤正	個人	個人	H25. 7. 18	相続による
古文書（貞観五年民部省勘文案ほか）	個人	個人	H26. 1. 7	相続による

⑧ 有形民俗文化財現状変更（※印 市の法定受託事務等による許可）

名 称	所有者	申請者	申請日	受理日	完了日	内 容
八鬼山町石及び石造三宝荒神立像、石造不動明王立像	尾鷲市	三重県環境生活部	H25. 6. 7	H25. 6. 13	H25. 6. 26	レプリカ作成のための現地での型取り（※）

⑨ 有形民俗文化財現状変更

名 称	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	内 容
若山家蔵「熊野街道善根宿納札」	個人	熊野市文化交流センター	H25. 6. 10	H25. 6. 20	レプリカ作成のための写真撮影
江島若宮八幡神社絵馬群	江島若宮八幡神社	大黒屋光太夫記念館	H25. 8. 23	H25. 9. 21 ～11. 17	特別展に出展

⑩ 史跡及び名勝現状変更

件 名	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
史 大河内城跡	西蓮寺	宗教法人西蓮寺代表役員	H25. 4. 1	H25. 4. 1	H25. 5. 15	発掘調査
		宗教法人西蓮寺代表役員	H25. 5. 20	H25. 5. 22	H25. 12. 8	鐘楼設置・法面改良
		三重県知事	H25. 6. 12	H25. 6. 18	H25. 11. 28	土留工
史 坂本古墳群	明和町	明和町長	H25. 4. 2	H25. 4. 2		発掘調査
史 鳥羽城跡	鳥羽市	鳥羽市長	H25. 5. 30	H25. 5. 30	H25. 12. 5	発掘調査
		鳥羽市長	H25. 8. 9	H25. 8. 14	H26. 3. 17	土塀修理
		鳥羽ロータリークラブ	H25. 9. 20	H25. 10. 22	H26. 1. 19	仮設工作物設置
		鳥羽市長	H25. 11. 1	H25. 11. 11	H26. 1. 12	フェンス撤去
史 粥見井尻遺跡	松阪市	松阪市長	H25. 6. 7	H25. 6. 10	H26. 3. 20	復元住居建替え
史 田丸城跡	玉城町	玉城町長	H25. 6. 25	H25. 7. 16	中止	道路改良工事
		玉城町長	H25. 10. 17	H25. 10. 25	H26. 2. 28	仮設工作物設置
		玉城町長	H25. 10. 30	H25. 11. 1	H25. 12. 5	発掘調査
名 宮川堤	国土交通省ほか	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所長	H26. 2. 12	H26. 2. 12	H26. 3. 7	シダレザクラの移植

⑪ 天然記念物現状変更

件名	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	桑名市	ヒメタイコウチ・ホトケドジョウ保存会	H25. 5. 20	H25. 5. 30		観察会等の実施に伴う一時捕獲・移動
おおだいがはらさんしょうお		三重県知事	H25. 4. 9	H25. 4. 18	H25. 12. 16	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 4. 11	H25. 4. 18	H26. 1. 15	工事にともなう一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 5. 14	H25. 5. 22		工事にともなう一時捕獲・移動
		三重県知事	H25. 5. 23	H25. 5. 24		工事に伴う生息状況調査
		林野庁近畿中国森林管理局	H25. 6. 13	H25. 6. 26	H25. 12. 6	生息状況調査
		個人	H26. 2. 24	H26. 2. 24		生息状況調査
逆柳の甌穴	国	高尾住民自治協議会	H25. 6. 10	H25. 6. 18	H25. 7. 29	イベント開催に伴う環境整備
篠立の風穴	立田地区	三重県環境生活部長	H25. 6. 7	H25. 6. 10		博物館の展示制作に伴う生物調査及び生物採取
長太の大楠	須伎神社	須伎神社	H25. 7. 1	H25. 7. 10	H25. 11. 25	樹勢回復事業に伴う枯損枝の除去・土壌改良
アヤマスズ自生地	高倉神社	伊賀市教育委員会教育長	H25. 1. 29	H25. 1. 31	H26. 1. 31	生息状況調査に伴う試料採取
和具大島暖地性砂防植物群落	和具八雲神社	志摩市教育委員会教育長	H23. 7. 15	H23. 7. 19	H26. 2. 18	ハマユウの生育状況調査
大淵寺のスタジイ	大淵寺	大台町教育委員会教育長	H26. 1. 23	H26. 1. 29	H26. 3. 20	枯損枝の除去・樹勢回復

⑫ 県指定文化財の掲載・撮影許可等

件名	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解、三重県水産図説	日本文教出版株式会社	H25. 4. 22	H25. 5. 1	文部科学省検定教科書「小学6年上」(教師用指導書、教師用指導書添付デジタル教科書も含む)に掲載
三重県水産図解、三重県水産図説	NHK津放送局	H25. 4. 30	H25. 5. 1	テレビ放送
絹本著色兼好法師像	株式会社博秀工芸	H25. 7. 3	H25. 7. 8	ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示パネル及び図録掲載
三重県水産図解、三重県水産図説	株式会社ジン・ネット	H25. 6. 7	H25. 6. 10	テレビ放送
三重県水産図解、三重県水産図説	熊野古道センター	H25. 6. 19	H25. 6. 27	企画展パネルに使用
三重県水産図解、三重県水産図説	日本文教出版株式会社	H25. 7. 12	H25. 7. 19	大阪市学校教育ICT活用事業の実証実験に使用

件名	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解、三重県水産図説	IVSテレビ制作	H25. 7. 23	H25. 7. 25	テレビ放送
三重県水産図解、三重県水産図説	三重県環境生活部長	H25. 8. 5	H25. 8. 7	新県立博物館の基本展示パネル及び解説に使用
三重県水産図解、三重県水産図説	海の博物館	H25. 8. 27	H25. 9. 3	特別展「海と伊勢神宮 ～グルメな神さまたちの理想郷～」で展示パネル及び図録に使用
三重県水産図解、三重県水産図説	三重県雇用経済部観光・国際局	H25. 9. 9	H25. 9. 13	プレゼンのパワーポイント資料中に使用
三重県水産図解、三重県水産図説	日本文教出版株式会社	H25. 9. 10	H25. 9. 20	大阪市学校教育ICT活用事業の実証実験でiPad版変換
三重県水産図解、三重県水産図説	株式会社CNインターボイス	H25. 10. 24	H25. 10. 29	高校向け教材DVDで使用
三重県水産図解、三重県水産図説	伊勢新聞社	H25. 11. 1	H25. 11. 5	新聞に掲載
三重県水産図解、三重県水産図説	海の博物館	H26. 2. 18	H26. 2. 21	企画展「三重の海女文化」で展示パネルに使用
三重県水産図解、三重県水産図説	日本文教出版株式会社	H26. 2. 27	H26. 3. 5	文部科学省検定教科書『中学社会歴史的分野』及び関連出版物に掲載

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

該当者なし

(2) 三重県文化財講習会（第31回）

目的 文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資する。

テーマ 『社寺宝物はみんなの文化財ー保護と管理について考えるー』

主催 三重県教育委員会・三重県指定文化財等所有者連絡協議会

開催日 平成25年11月12日(火)

場所 三重県総合文化センター

参加者 60名

内容 講演 「三重県の仏像～近年指定された仏像から～」

三重県文化財保護審議会委員 赤川 一博

報告 「文化財の日常管理について」

三重県立博物館 間 潤 創

報告 「寺院の無住化と文化財保護」

桑名市教育委員会 石 神 教 親

(3) 第55回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

趣 旨	近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。
主 催	第55回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会、福井県、福井県教育委員会
共 催	若狭町、若狭町教育委員会、福井県無形民俗文化財保護協議会、若狭町伝統文化保存協会
助 成	文化庁
協 賛	全国民俗芸能保存振興市町村連盟
開催日時	平成25年10月27日(日)
会 場	パレア若狭 音楽ホール
出演演目	闇見神社王の舞、塩土の太刀振、三宅六斎念仏(福井県)、白川村鳩谷の獅子舞(岐阜県)、河内祭の御舟行事より「御舟謡」(和歌山県)、伊賀一宮敢國神社の獅子舞(三重県)、松尾寺の仏舞(京都府)、居組麒麟獅子舞(兵庫県)

(4) 文化財保護強調週間行事（平成25年11月1日～7日 ※近接期間の事業を含む）

		県	市	町	その他	合計
実施自治体件数		1	10	2	0	13
実施 行事 件数	文化財講座・シンポジウム等	1	3	1	0	5
	伝統芸能発表会等	0	2	1	0	3
	文化財めぐり	0	1	0	0	1
	文化財の現地公開	0	2	0	0	2
	博物館等での文化財の展示	1	9	1	0	11
	文化財保護功労者の表彰等	0	0	0	0	0
	その他	1	2	0	0	3

(5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況

関連防火運動実施状況（平成26年1月26日）*防火デー以外の日に実施したものを含む

	実施件数			
	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	4	1	3
市	13	16	12	35
町	9	11	7	11
計	24	31	20	49

(6) 文化財保護の組織（平成25年度）

社会教育・文化財保護課 課長	田中 彰二
有形文化財班	記念物・民俗文化財班
班長 竹田 憲治	班長 竹内 英昭
主幹（班長代理）	主幹（班長代理）
青谷 透	小濱 学
主幹 西峰 淳	主査 松葉 和也
主査 柴山 圭子	中野 環
技師 角正 淳子	原田 恵理子
	主事 藤原 良幸
	技師 石井 智大
	川部 浩司

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成 26 年 3 月 31 日現在

種 別		国	県	計
重要文化財 Ⅱ 有形文化財	建造物	24	42	66
	絵画	19	43	62
	彫刻	66	110	176
	工芸品	17	56	73
	書跡・典籍・古文書	45	56	101
	考古資料	10	29	39
	歴史資料	4	6	10
文無 化財形	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
文民 化財俗	無形民俗文化財	8	37	45
	有形民俗文化財	1	25	26
記 念 物	特別史跡	1	—	1
	特別天然記念物	2	—	2
	特別名勝及び天然記念物	1	—	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	2	2
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	77	98
	天然記念物及び名勝	1	1	2
小 計		279	570	849
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	1
文化財の保存技術		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録文化財		160	—	160
合 計		455	581	1,036

（国の古文書には国宝 3、考古資料には国宝 1 を含む）

三重県の文化財保護 — 平成 25 年度 —

・発行／2014.12 ・編集／三重県教育委員会 ・印刷／小林印刷

古紙配合率は100%、白色度80%